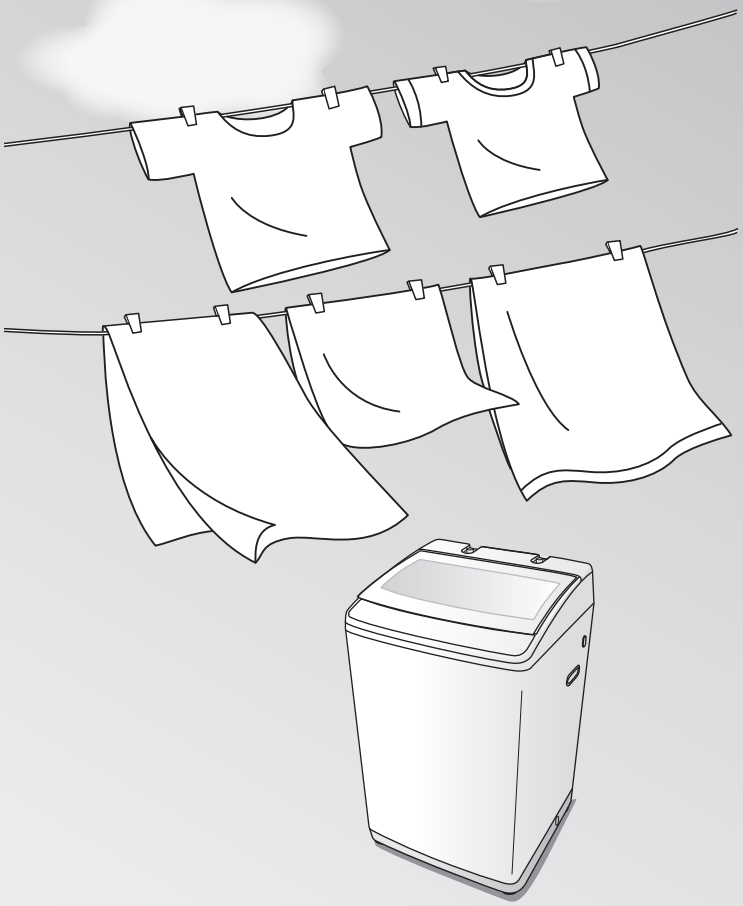
取扱説明書

AQUA

全自動電気洗濯機 家庭用

品番 AQW-GP7E6



このたびは、全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
保証書は必ず記入事項を確かめて、販売店からお受け取りの
うえ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意 必ずお守りください …… 2
各部のなまえ / 付属品 …… 4
ふたロック / チャイルドロック …… 4
操作パネル部のはたらき …… 5
洗濯の前に …… 6
各コースの所要時間 …… 8
環境に配慮した使いかた …… 8
洗剤類の使いかた …… 9
【使用量・粉石けん・洗剤・漂白剤・柔軟剤】

使いかた

洗濯する 標準 すすぎ1回 おいそぎ やさしく 部屋干し 11
自分流の運転内容を記憶させる 自分流 …… 12
デリケートな衣類を洗濯する おしゃれ着 …… 13
毛布・ふとんを洗濯する 毛布 …… 16
風乾燥をする …… 18
コースの運転内容を変更する【お好み設定】 …… 20
予約運転をする …… 21
風呂水を使って洗濯する …… 22

必要なとき

こんなとき …… 24
- ■ のりづけをしたい
- ■ 洗濯液を2回使いたい
- ■ 水を追加したい
- ■ 終了ブザー音を消したい
- ■ 凍結の恐れがある

お手入れ …… 26
- ■ 糸くずフィルター ■ 洗剤投入容器
- ■ 本体 ■ 給水口 ■ 排水口
- ■ 洗濯・脱水槽 槽洗浄 …… 27
- ■ 風呂水吸水ホース
- ■ 浄化フィルター ■ 風呂水吸水口

据え付け …… 29
故障かな？ …… 35
こんな表示がでたら …… 37
修理を依頼する前に …… 38
別売部品 …… 38
保証とアフターサービス …… 39
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について… 39
仕様 …… 39

ご愛用者登録のお願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願い致します。

http://aqua-has.com/support/reg/

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、
必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	死亡や重傷を負うことが想定される内容です。
⚠注意	傷害や物的損害の発生が想定される内容です。

■お守りいただく内容を次の表示で区分し、説明しています。

⃠	してはいけない「禁止」内容です。
❗	必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　告

本体／洗濯・脱水槽

⃠
- **子供を洗濯・脱水槽内に入らせない**
  （感電・けが・おぼれる原因）
- **子供には洗濯・脱水槽をのぞかせない**
  本体の近くに台などを置かない
  子供など不慣れなかただけで使わせない
  （洗濯・脱水槽への落下によるけがの原因）
- **子供を上ぶた(ガラス面)にのぼらせない**
  （けがの原因）
- **回転中の洗濯・脱水槽に手などを入れない**
  完全に止まるまでは、絶対に触らないでください。
  ゆるい回転でも洗濯物が手に巻き付くことがあります。
  （けがの原因）
  特に子供には注意してください
- **分解・修理・改造は絶対にしない**
  （火災・感電・けが・水もれの原因）
  修理はお買い上げの販売店、または当社
  修理相談窓口➡P40 にお問い合わせください。
- **お手入れなどで、本体各部に直接水をかけない**
  （感電・漏電火災の原因）
- **火気を近付けない**
  ローソク、タバコ、蚊取り線香など
  （火災・変形の原因）
- **引火物や、引火物の付着した洗濯物を洗濯・脱水槽に入れたり近付けたり、絶対にしない**
  引火物：灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなど引火性のあるもの
  （爆発・火災の原因）
- **操作部付近に磁石など磁気を帯びたものを近付けない**
  （上ぶたが開いた状態での誤動作によるけがの原因）

❗
- **動かない・煙が出た・変な臭いや音がするなどの異常を感じたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼する**
  （感電・漏電・ショートによる火災の原因）

電源プラグ・コード

⃠
- **電源プラグや電源コードが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
  （感電・ショート・発火の原因）
- **傷付け・加工・破損・無理な曲げ・たばねる・引っ張る・ねじる・重いものをのせる・はさみ込むなどしない**
  （破損による火災・感電の原因）
- **ぬれた手で抜き差ししない**
  （感電の原因）
- **延長コードは使用しない**
  （火災・感電の原因）
- **テーブルタップによるタコ足配線はしない**
  （火災・感電の原因）

❗
- **定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う**
  電源プラグは根元まで確実に差し込む
  （火災・感電の原因）
- **定期的に電源プラグのほこりなどを乾いた布で拭き取る**
  （ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因）
- **電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たず電源プラグを持って抜く**
  （感電・ショート・発火の原因）
- **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く**
  （感電・けがの原因）
- **長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから必ず抜く**
  （絶縁劣化による感電・漏電火災の原因）

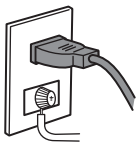
風呂水

⃠
- **風呂水吸水ホースで灯油・ガソリンなど水以外のものを吸い込まない**
  （爆発・火災の原因）

⚠ 警　告

据え付け

- **浴室など湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない**
  （感電・漏電火災の原因）
- **アースを確実に取り付ける**
  （故障・漏電による感電の原因）
  アース工事は、必ずお買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。工事費は本体価格には含まれません。



上ぶた

- **ロックしている上ぶたを無理に開けない**
  （上ぶた・ロック機構の破損、けがの原因）
- **上ぶた（ガラス面）に物を落としたり、衝撃を加えたりしない**
  上ぶた（ガラス面）の上に乗ったり、物を置いたりしない
  （破損〔割れ、傷、ひび〕によるけがの原因）
  万一、ガラスが破損した場合は使用を中止し、すぐにお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- **本体に手を置いたまま、上ぶたを開閉しない**
  （手や指をはさむことによるけがの原因）

⚠ 注　意

洗濯物

- **防水性のマット・シートや衣類、足拭きマットなどの固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水・風乾燥をしない**
  （洗濯物の飛び出し、異常振動によるけが、本体・壁・床などの破損、衣類の損傷、水もれ被害などの原因）

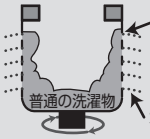
例　足拭きマットなど固くて厚いもの、寝袋、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、雨ガッパ、カーペット、スキーウェア、ウインドブレーカー、自転車・バイク・自動車のカバー、防水シートなど、その他、防水性の水を通しにくいもの

■防水性衣類の確認方法
衣類に口を当て、息を吹き付けて息が通らない場合は、防水性衣類です。



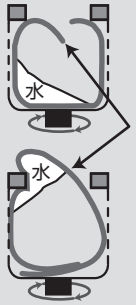
脱水のご注意

■普通の洗濯物



洗濯物の水は洗濯・脱水槽の穴から抜け出る

■防水性の衣類・繊維製品



洗濯・脱水槽が回転しても水が防水性の衣類や繊維製品から出られないため、水が片寄って大振動を引き起こす

洗濯・脱水槽が高速回転しても水が防水性の衣類や繊維製品から出られないため、水が上に移動して大振動とともに飛び出る

お願い

- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから早めに抜いてください。落雷により故障することがあります。
- すすぎ・脱水中に上ぶたがロックされない場合、脱水中にふたロックを解除しても洗濯・脱水槽が回転している場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。

据え付け

- **直射日光のあたる場所には据え付けない**
  （プラスチック部品の変色や変形の原因）
- **冬期に凍結の恐れのある場所には据え付けない**
- **排水ホースの付け換え時には、必ず手袋をする**
  （けがの原因）

本　体

- **運転中、本体の下に手足を入れない**
  （けがの原因）

給　水

- **50℃以上のお湯は使わない給湯器とつながない**
  （感電・漏電の原因）
- **さび・砂鉄の含まれる水は使わない**
  （井戸水・さびた給水管などの使用は水もれ・故障の原因）

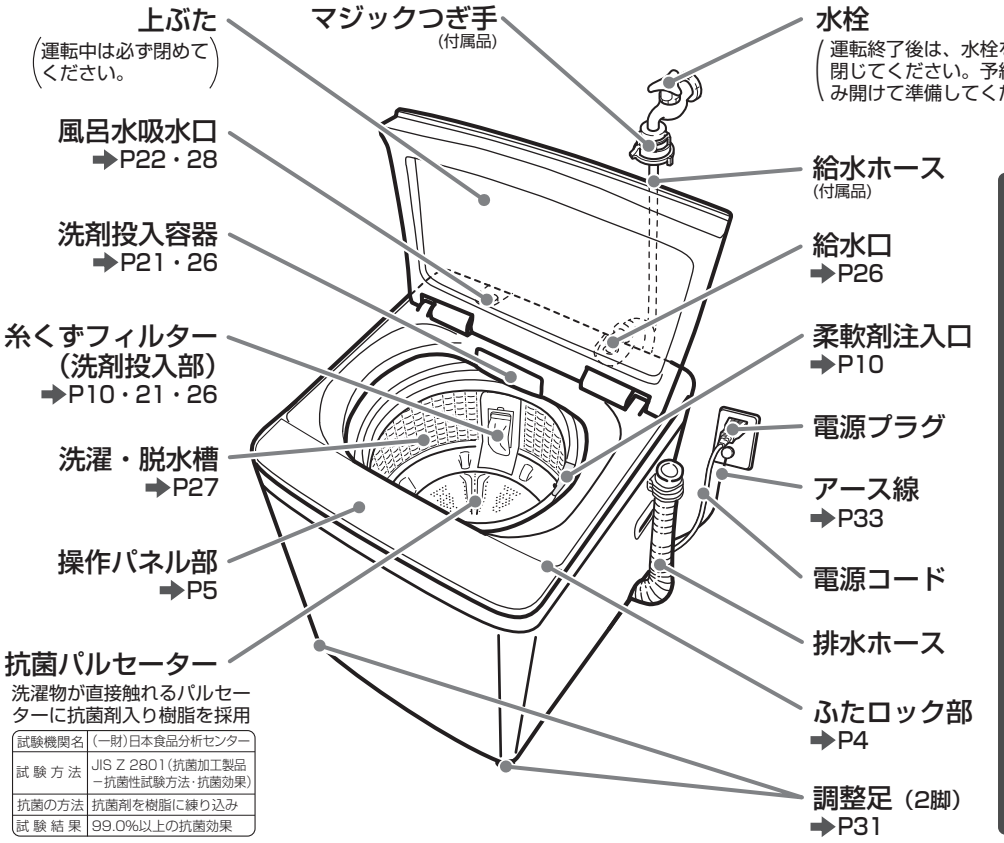
運転前後

- **運転前は水栓を開き、水もれがないか確認する**
  （水もれの原因）
- **運転終了後は、水栓を必ず閉じる**
  （水もれの原因）

風呂水

- **風呂水は、本体が浴槽の水面より低い場所では使わない**
  （サイフォン現象により、水が出続ける原因）
- **浄化フィルターを浴槽に入れたまま吸水つぎ手をはずさない**
  （サイフォン現象により水があふれ出し床をぬらす原因）

各部のなまえ / 付属品



試験機関名	(一財)日本食品分析センター
試験方法	JIS Z 2801(抗菌加工製品－抗菌性試験方法・抗菌効果)
抗菌の方法	抗菌剤を樹脂に練り込み
試験結果	99.0%以上の抗菌効果

付属品



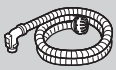
給水ホース
(1本・長さ約80cm)
➡P33



マジックつぎ手
(1個)
➡P32



風呂水吸水ホース掛け
(1個)
➡P22



風呂水吸水ホース
(1本・長さ約4m)
➡P22・28

ふたロック / チャイルドロック

ふたロック

「すすぎ」「脱水」「風乾燥」「チャイルドロック設定」時は、上ぶたがロックされます。

○ふたロック

- **点灯中**
  上ぶたはロックされ開きません。
- **消灯中**
  上ぶたを開けることができます。

ふたロック中に 上ぶたを開けたい

スタート 一時停止(ロック解除) を押す ▶ 「ピッ」と鳴り、●ふたロック が消灯後、開けてください。

- 「ピピッ」と鳴ったとき：チャイルドロックが設定されています。

電源が入っていないとき

運転中に停電したときや電源プラグをコンセントから抜いたときは、ロックされたままになります。

電源を「入」にして、●ふたロック が消灯後、開けてください。

- 電源を入れたとき「ピッピッピッ」と鳴り UL を表示した場合は、チャイルドロックが設定されています。

チャイルドロック

子供の安全のため、上ぶたが開かないようにするとともにボタン操作をできないようにします。

チャイルドロックは、洗剤を投入し運転を開始してから設定してください。

運転を開始し、上ぶたを閉めてから

コース を約6秒間押し続ける

- 「ピッ」と鳴り UL を(約1秒間)表示します。
- 上ぶたにロックがかかり、電源の「入」「切」とチャイルドロック解除以外の操作ができなくなります。

運転中以外でチャイルドロックを設定したいとき

1. 電源「入」の状態で コース を約6秒間押し続ける
2. スタートし、すぐに電源を切る

解除 電源「入」の状態で コース を約6秒間押し続ける

- 「ピッピッピッ」と鳴り、解除完了

お知らせ

- 電源を切っても解除するまで上ぶたは開けられません。
- 電源「入」の状態であれば設定／解除はいつでもできます。
- 電源を入れたとき「ピッピッピッ」と鳴り UL を表示した場合は、チャイルドロックが設定されています。
- U4 を表示した場合は、上ぶたを閉め スタート 一時停止(ロック解除) を押してください。

操作パネル部のはたらき

残時間・予約時間・水量・設定内容などの表示

残時間

（例）残り20分の場合



99分をこえるとき
2H(2時間)、3H(3時間)と表示し、12時間は CH と表示します。

予約時間

（例）6時間後に運転を終了させる場合

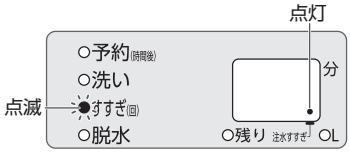


水　量

（例）55Lの場合

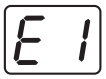


注水すすぎ時



お知らせ表示 ➡P37

異常が発生したとき
点滅とブザーでお知らせ
（例）給水しない場合



布量検知中 ➡P7



ふたロック解除中

点滅中は何も受け付けません



は粉末合成洗剤（水30Lに対し20g）に同梱されているスプーン（すりきり1杯約47gのもの）を基準にしています。 ➡P9

風呂水

- 風呂水を使って洗濯するときに ➡P22～23

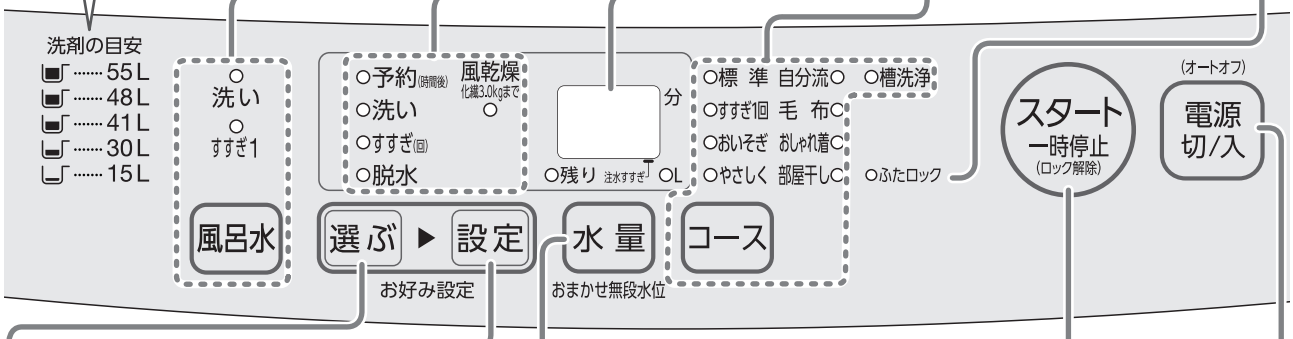
進行表示

- 運転中の行程を点滅、残りの行程を点灯で表示します。
（予約待機中は予約ランプのみ点灯）

コース

- コースを選ぶときに
選んだコースのランプが点灯します。

ふたロック表示 ➡P4



設定

- 予約時間・洗い時間・すすぎ回数や方法・脱水時間・風乾燥の設定に

水量

- お好みの水量に変更するときに
運転中（すすぎ終了までの間）は一時停止し、変更してください。
- 設定水量を確認するときに
運転中に押すと確認できます。
- 水を追加するときに ➡P24

スタート／一時停止

- スタートするときに
- 一時停止するときに
もう一度押すと運転を再開します。
- 運転中にふたロックを解除するときに ➡P4

選ぶ

- 予約運転 ➡P21 をするときに
- 「洗い」「すすぎ」「脱水」を、お好みの運転内容に変更するときに ➡P20
- 風乾燥 ➡P18～19 をするときに

電源　切/入

- 電源の「入」「切」に
電源を入れると記憶しているコースのランプが点灯します。 ➡P7
- オートオフ機能 （自動的に電源が切れます）
  - 運転が終了したとき
    次の設定をしなかったとき …… 運転終了後すぐ
    チャイルドロックを設定したとき …… 5分後
    凍結防止(残水排水)設定をしたとき …… 10分後
  - スタートさせずに放置したとき …… 5分後



お知らせ

- コースによっては、選べない設定があります。
- ボタン操作で各種設定（凍結防止設定、終了ブザー音を消すなど）をすることができます。 こんなとき ➡P24～25

洗濯の前に

本体の準備

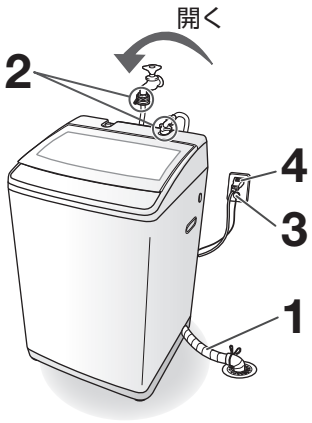
1 排水ホースを排水口に差し込む
- 排水ホースの抜けがないか確認してください。

2 給水ホースをつなぎ、水栓を開く
- マジックつぎ手や給水ホースの接続部などから、水もれがないか確認してください。

3 アースを取り付ける

4 電源プラグをコンセントに差し込む

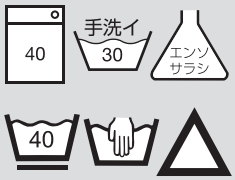
■詳しくは、「**据え付け**」 ➡P29~34 をお読みください。
■風呂水を使うとき ➡P22~23



洗濯物の準備

洗濯物を確認する

衣類の取扱い表示に従う



髪の毛・ペットの毛は落とす



- 本体の故障を防ぐためです。

飾りのある衣類、起毛素材の衣類は裏返して洗う

- 衣類の傷み、毛玉を防ぐためです。



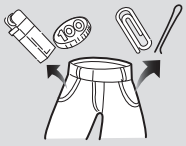
ひもは結ぶ
ボタン・面ファスナーは留める
ファスナーは閉める

- 衣類や本体を傷める原因になります。



ポケットの中に何も入っていないことを確認する
カーテンフック、ワイシャツのプラスチッククリップなどは必ず取り除く

- 排水経路に詰まり故障・異常音・衣類や本体を傷める原因になります。



衣類の 取扱い表示（例）

2016年12月に、衣類の「取扱い表示」が変わりました。本取扱説明書では新旧併記しています。

旧表示 ▶ 新表示	
 	洗濯機で洗濯ができる
 	手洗いができる
 	洗濯できない
 	塩素系および酸素系の漂白剤による漂白ができる
 	酸素系漂白剤による漂白はできるが、塩素系漂白剤による漂白はできない
 	漂白処理はできない

汚れがひどいものは前処理をする

シミ汚れ

- 酸素系液体漂白剤や専用洗剤などを塗る
- 食べ物のシミの場合、付いたらすぐに汚れを取り除く
- 飲料水・化粧水が付着した衣類は長時間放置せず、すぐに洗い流す（ピンク色に変色する原因）



えり・そで汚れ

- そで口・えりなどの汚れは、専用洗剤を塗る

または、

- 石けんや洗剤液を付けて、やさしくブラッシングする





泥や砂汚れ

- 石けんや専用洗剤を付けてもみ洗いをする
- ブラシなどで落とす（本体の故障を防ぐため）



洗濯物を仕分ける

新しい色柄物・色落ちしやすいもの

▶▶ **分け洗いする**

■色落ち確認方法
洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認する



糸くずの付着が気になる衣類

▶▶
- タオル・バスタオルとは、分けて洗う
- 市販の糸くず防止ネットや細かい網目の洗濯ネットに入れて洗う
- 裏返して洗う

デリケートな衣類

▶▶ **洗濯ネットに入れて「おしゃれ着」コースで洗う**

- レースの付いた衣類、ランジェリー、ナイロンストッキング、化繊のうす物 など



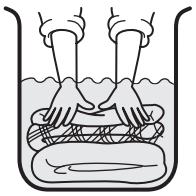
- ワイヤー入りのブラジャーは、必ず市販の洗濯ネット（細かい網目）に入れる
  ワイヤーが飛び出し、本体や他の洗濯物を傷める原因になります。



ご注意
- ワイヤーなどの芯材が入った洗濯ネットは、使わないでください。
- 洗濯ネットに衣類を詰め込みすぎないでください。
- 大きめの洗濯ネットや複数の洗濯ネットを入れた場合は、振動が大きくなったり、脱水ができなくなったりすることがあります。
  一時停止して洗濯・脱水槽内の洗濯物の片寄りを直してください。

洗濯物の入れかた

- **水に浮きやすいもの**（化繊100%、混紡衣類など）**やかさばるもの**（カーテンなどの大物、ジーンズ・柔道着など厚手の衣類）**から、先に入れる**
- **水に浮きやすいものやかさばるものは、浮かないように均一によく押し込む**
  洗濯物が浮いていたら、一時停止して洗濯液に押し込み、水を十分含ませてください。
- **洗濯物は入れすぎない**
  給水時に水が飛び散り床がぬれる・汚れがよく落ちない・脱水時にはみ出して洗濯物や本体が破損する原因になります。



知っておくと便利な機能

記憶機能

スタートから約40秒後、運転したコースを自動的に記憶します。

次回 [電源 切/入] **記憶しているコースのランプが点灯します。**

▼

[スタート 一時停止 (ロック解除)] **ワンタッチでスタートができます。**

記憶するコース

「標準」「すすぎ1回」「おいそぎ」「やさしく」「自分流」コース



お知らせ
- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときも、記憶しています。
- [選ぶ] [設定] を押して変更した運転内容は記憶しません。記憶させたいときは、「自分流」コース ➡P12 をご利用ください。
- 前回の風呂水設定内容は、電源を入れると表示します。

布量検知（洗濯量の計測）

[スタート 一時停止 (ロック解除)] **を押すと、洗濯量を自動的に調べ、水量を表示します。**

水のない状態で、パルセーターが回転して布量検知をします。水量を参考に洗剤類を入れてください。

布量検知するコース

「標準」「すすぎ1回」「おいそぎ」「やさしく」「自分流」「部屋干し」コース

洗濯物がぬれている場合	布量を多めに判定します
洗濯・脱水槽内にはじめから水が入っている場合	布量検知をしません 55L に設定されます ➡洗濯量に応じた水量を設定してください。
お好み設定で「すすぎ」からスタートした場合	



お知らせ
- 洗濯・脱水槽内に入る実際の水量は無段階のため、水量表示と異なることがあります。
- 必要に応じて、水量を調整してください。 ➡P5・24
- 予約時は、布量検知しません。

各コースの所要時間

• [ ] は、標準時間を表わしています。

コース	水量	洗い（約）	すすぎ	脱水（約）	所要時間（約）
標　準	15L～55L • 24L ～ 55L は無段階自動設定 • 15L は手動設定	[10分] 8～10分	1回 〔シャワー+ため1回〕	6分	[37分] 33～37分
すすぎ1回		10分	1回 〔ため〕	6分	[35分] 31～35分
おいそぎ		[6分] 4～6分	注水1回	6分	[24分] 22～24分
やさしく		[10分] 8～10分	2回 〔ため〕	4分	[39分] 31～39分
自分流		設定内容による			
部屋干し		[10分] 8～10分	1回 〔シャワー+ため1回〕	30分	[61分] 57～61分
毛　布	55L(自動設定水量) 48Lに切り換え可	12分	注水2回	8分	59分
おしゃれ着	48L(自動設定水量) 55L·41L·30Lに切り換え可	4分	注水2回	2分	[40分] 37～40分
槽洗浄	変更できない	つけおき10.5時間 + 洗い11分	1回 〔ため〕	37分	12時間

注水すすぎは、はじめにためすすぎをします。



お知らせ

- 所要時間は、給水量が毎分 15L のときの目安です。水道水圧・排水条件などにより変わります。
- 洗濯・脱水槽内にはじめから水があるときや水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わる場合があります。

すすぎの種類

■シャワーすすぎ
洗濯・脱水槽をゆっくり回し、給水と排水を同時に行いすすぐ



■ためすすぎ
設定水量まで給水後、水をためてすすぐ



■注水すすぎ
設定水量まで給水後、注水しながらすすぐ



環境に配慮した使いかた

水

標準コース・給水量毎分15L・水量55Lの場合で比較しています。

●洗濯液を2回使う ➡P24
コース運転を2回するのに比べ、約47L節水できます。

●ためすすぎをする ➡P20
注水すすぎに比べ、すすぎ1回につき約30L節水できます。

本製品は洗濯量に応じて水量を無段階に自動設定します。洗濯物を入れ、スタートすると布量センサーがはたらき、適切な水量を設定します。

水 電気 洗剤

●まとめ洗いをする
洗濯回数が減ります。

本製品は待機時消費電力（電源を「切」にした状態の電力）が、0（ゼロ）になっています。

洗剤

●軽い汚れの場合、洗剤量を控えめにする
（脂分をほとんど含まない汗やほこりのような汚れ）

●洗濯液を2回使う ➡P24
洗剤量2回分が1回分ですみます。

●洗剤を入れすぎない

洗剤類の使いかた【使用量・粉石けん】



水量	洗濯量【乾燥布】（上限）	洗剤の目安※	合成洗剤 粉末		合成洗剤 液体				粉石けん	柔軟剤			酸素系液体漂白剤	
← 水30Lに対する使用量（洗剤の容器の表示をご確認ください） →														
			20g	25g	超濃縮タイプ 10mL	20mL	25mL	中性洗剤 40mL	36g	7mL	10mL	20mL	20mL	40mL
55L	7.0kg		37g	46g	18mL	37mL	46mL	73mL	66g	13mL	18mL	37mL	37mL	73mL
48L	5.0kg		32g	40g	16mL	32mL	40mL	64mL	58g	11mL	16mL	32mL	32mL	64mL
41L	3.0kg		27g	34g	14mL	27mL	34mL	55mL	49g	10mL	14mL	27mL	27mL	55mL
30L	1.5kg		20g	25g	10mL	20mL	25mL	40mL	36g	7mL	10mL	20mL	20mL	40mL
15L	0.5kg		10g	13g	5mL	10mL	13mL	20mL	18g	4mL	5mL	10mL	10mL	20mL

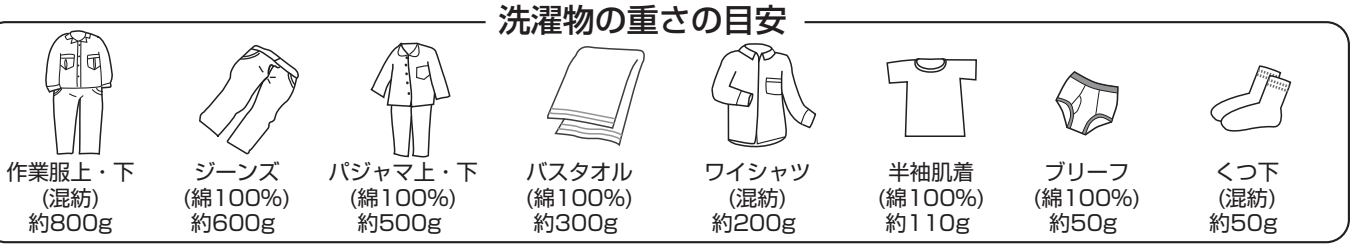
※洗剤の目安：粉末合成洗剤（水30Lに対して20g）に同梱されているスプーン（すりきり1杯約47gのもの）を基準にしています。

- **「すすぎ1回」コース**は、超濃縮液体洗剤（すすぎ1回と表記されている液体洗剤）をお使いください。
  それ以外の洗剤を使用した場合、すすぎが不十分になります。
- **「おいそぎ」コース**での洗剤の使用量は、上の表の7割程度が適当です。
- **「おしゃれ着」コース**での洗剤の使用量は、洗剤の容器に記載されている「使用量の目安」に従ってください。
- 洗剤によりスプーン1杯の洗剤量が異なります。洗剤の容器に記載されている「使用量の目安」に従ってください。
- 洗剤は、洗濯量と汚れの程度に応じて入れてください。
  - ・汚れが多い場合は洗剤量を増やし、軽い汚れの場合は洗剤量を控えめにしてください。
  - ・洗剤は入れすぎないようにしてください。すすぎが不十分になり洗濯物に残ります。
  - ・液体洗剤は軽い汚れでは泡立ちがよくなるので、入れすぎにご注意ください。

軽い汚れとは、脂分をほとんど含まない汗やほこりのような汚れのことです

- 洗濯量はJIS（日本工業規格）規定の布地を使用した場合のものです。洗濯物の厚さ・大きさ・種類により洗える量が変わります。布の動きが悪いときは、洗濯量や水量を調節してください。

洗濯物の重さの目安



粉石けん　溶け残りを防ぐため、あらかじめ溶かしてください

洗濯・脱水槽内で溶かす場合

1 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

2 コース「標準」を選び、
水量「15L」・洗い「3分」を設定する
お好み設定➡P20

3 スタート 一時停止 スタート（ロック解除）する

4 給水が止まったら、スタート 一時停止 で一時停止し、粉石けんを「洗濯・脱水槽」内に均等に入れる

5 上ぶたを閉め、スタート 一時停止 再スタートする

- 運転終了後、電源を入れ直し、使用するコースや水量を設定し、洗濯を始めてください。

溶けにくい場合

1 バケツなどに約30℃のぬるま湯を約5L入れる

2 十分かきまわしながら、粉石けんを少しずつ入れる

3 固まったり、粒が残ったりしないようによくかき混ぜ、「洗濯・脱水槽」内に入れる



- 水栓を開き、電源を入れ、使用するコースや水量を設定し、洗濯を始めてください。

お願い

- 粉石けんは合成洗剤に比べ衣類に残りやすく、黄ばみや臭いの原因になります。すすぎは十分に行ってください。
- 使用量が多すぎたり水温が低かったりすると、粉石けんが完全に溶けずに衣類に残ることがあります。また、ホースや洗濯・脱水槽内に残った粉石けんが浮き上がり衣類を汚すことがあります。そのようなときは、洗濯槽クリーナー（SWCLEAN-1）を使って「槽洗浄」コース ➡P27 でお手入れしてください。
- **予約時は、粉石けんを使わないでください。**（固まる恐れ）

洗剤類の使いかた（つづき）【洗剤・漂白剤・柔軟剤】

液体洗剤・液体漂白剤

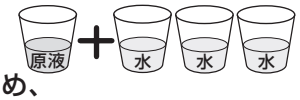
液体洗剤



同量の水でうすめ、
「液体洗剤・液体漂白剤注入口」に入れる

- すぐに洗濯する場合は、液体洗剤を「洗濯・脱水槽」内に入れていただくことも可能です。

液体漂白剤



3倍の量の水でうすめ、
「液体洗剤・液体漂白剤注入口」に入れる

- 塩素系漂白剤を直接、「洗濯・脱水槽」内に入れたり、洗濯物にかけたりしないでください。(変色・布破れの原因)
- 予約時は酸素系漂白剤をお使いください。



- 操作パネル部にこぼさないようにしてください。

柔軟剤

洗濯前に「柔軟剤注入口」に入れる

- 洗濯前に入れておくと、最終のすすぎで自動的に投入されます。
- すすぎ回数が1回でも自動的に投入されます。

1 柔軟剤注入口のカバーをスライドさせて開ける



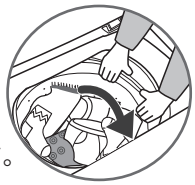
2 柔軟剤を入れる

- 濃縮タイプは、2倍の量の水でうすめ、よく混ぜてから入れてください。(固まる恐れ)





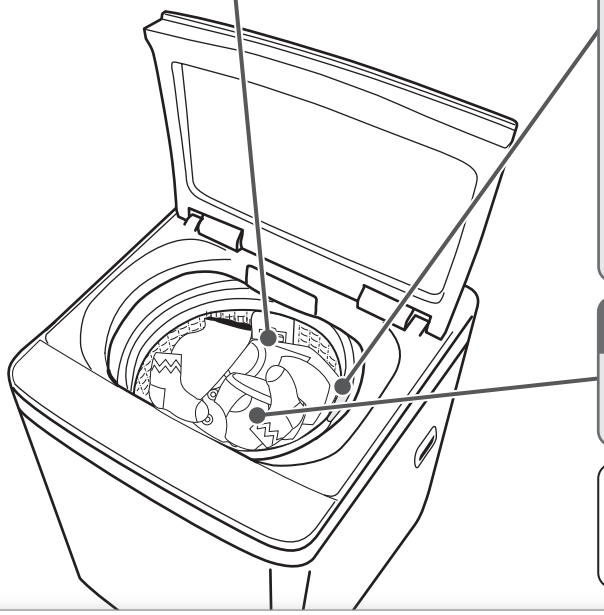
- 入れにくい位置にあるときは、洗濯・脱水槽を手で右方向(時計回り)に回してください。重く感じることもありますが右方向へ回すと位置は変わります。



3 カバーを閉める

- 開けたまま運転すると給水時に水が入り、柔軟剤が流れ出る場合があります。

- 柔軟剤は、入れすぎないでください。(衣類の黒ずみの原因)
- 柔軟剤を入れた後、12時間以上放置しないでください。固まる場合があります。
- 操作パネル部にこぼさないようにしてください。
- すすぎ行程の脱水中に一時停止しないでください。柔軟剤の投入時期が早まり、有効にはたらきません。



粉末合成洗剤・粉末漂白剤

「洗濯・脱水槽」内に直接入れる

予約時の洗剤の入れかた ➡P21

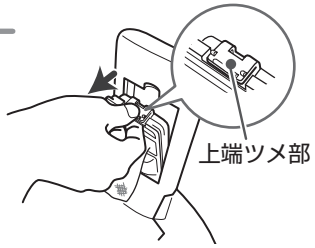
ご注意

- **重曹は使わないでください。**（故障の原因）
- ジェルボール型洗剤は、「洗濯・脱水槽」内に直接入れてください。

「糸くずフィルター」の使いかた

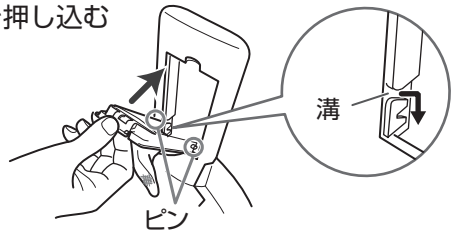
開けかた

上端ツメ部を下に
押さえながら
手前に引く



はずれたとき

糸くずフィルターのピン2カ所を
洗濯・脱水槽内の溝に差し込み、
上端ツメ部を押し込む



ご注意

- 糸くずフィルターは、洗剤などの投入後、確実に閉めてください。開いた状態で運転すると、衣類がひっかかり破損する恐れがあります。

洗濯する

標準コース

綿素材の下着など、
普段着を洗濯したいときに

すすぎ１回コース

超濃縮液体洗剤※を
使用するときに

※超濃縮液体洗剤:
すすぎ1回と表記されている液体洗剤

おいそぎコース

軽い汚れの衣類を
手早く洗濯したいときに

やさしくコース



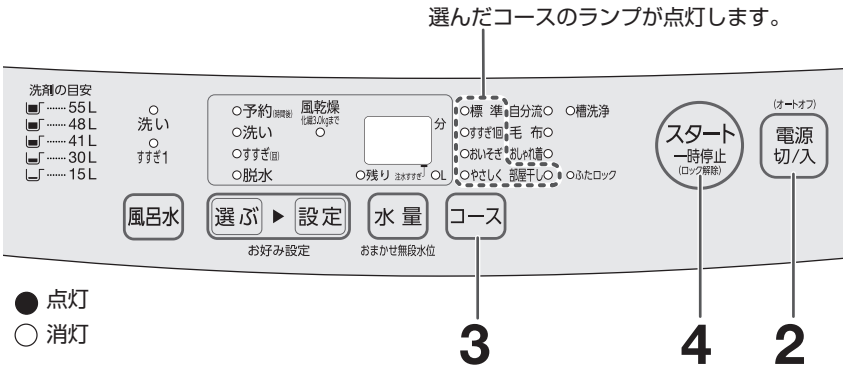
表示のある

衣類を布傷みをおさえて
やさしく洗濯したいときに

部屋干しコース

部屋干し時間を短縮したいときに

・「脱水」を30分行います。



洗濯容量	7.0 kg以下

お知らせ

- 「標準」「部屋干し」コースは、洗いのはじめに**高濃度クリーン洗浄**をします。
- 「すすぎ1回」「おいそぎ」コースは、洗濯時間の短縮と洗濯液を衣類に吸収させるために少ない水量から「洗い」が始まります。
- 「やさしく」コースでは「風乾燥」は設定できません。

高濃度クリーン洗浄

高濃度の洗濯液を繊維の奥まで浸透させるため、少ない水量からかくはんを始め、水を追加しながら洗います。



高濃度洗剤液をつくる
パルセーター裏の羽根で洗剤を早く溶かし、高濃度洗剤液をつくる

浸透させて芯から白く
きめ細かい高濃度の泡が衣類を包み込んで汚れを芯から洗い落とす

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

2 電源切/入 電源を入れる

3 コース 使用するコースを選ぶ

- 必要に応じ、風呂水 「風乾燥」を設定してください。

4 スタート 一時停止 (ロック解除) スタートする

布量検知 ➡P7

- 水のない状態でパルセーターが回転し、布量検知を開始します。



検知中表示

- 検知後に水量を表示し、その後、残時間の表示に切り換わります。

5 給水が始まってから洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 粉末合成洗剤は溶け残りを防ぐため、「洗濯・脱水槽」内に均等に入れてください。
- 液体洗剤・柔軟剤・漂白剤 ➡P10

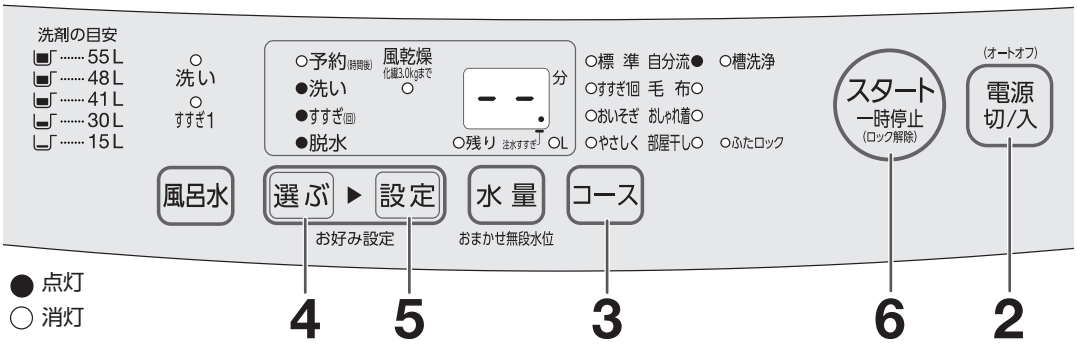
ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

自分流の運転内容を記憶させる

自分流コース

お好みの運転内容を記憶させることができます。次からは「自分流」を選ぶと前回設定した運転内容で運転することができます。
「水量」「予約」は記憶しません。



洗濯容量	7.0 kg 以下

購入時の設定

洗　い	15 分
すすぎ	〔注水〕2 回
脱　水	10 分

お知らせ

- 洗濯時間の短縮と洗濯液を衣類に吸収させるために少ない水量から「洗い」が始まります。
- スタートして約40秒後に前回の設定は消え、新しい設定を記憶します。
- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときも記憶しています。
- 前回の風呂水設定内容は、電源を入れると表示します。

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

2 電源 切/入 電源を入れる

3 コース「自分流」を選ぶ

- 記憶内容を表示します。変更がなければ **6** へ

4 選ぶ 変えたい行程を選ぶ

5 設定 お好みの時間、すすぎ回数・方法を設定する ➡P20

- 必要に応じ、風呂水「風乾燥」を設定してください。

6 スタート 一時停止 (ロック解除) スタートする

- 水のない状態でパルセーターが回転し、水量を表示します。

布量検知 ➡P7

7 給水が始まってから洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 粉末合成洗剤は溶け残りを防ぐため、「洗濯・脱水槽」内に均等に入れてください。
- 液体洗剤・柔軟剤・漂白剤 ➡P10

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

デリケートな衣類を洗濯する

おしゃれ着コース

デリケートな衣類の洗濯に適しています。
衣類の縮みを防ぐためにやさしく洗います。
「予約」「風乾燥」は設定できません。

洗濯できるもの(例)

取扱い表示が、

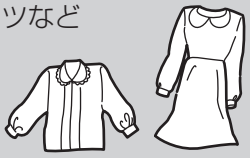


のデリケートな衣類

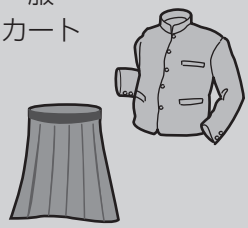
ウール、カシミヤ
アンゴラのセーター
カーディガンなど



絹、麻のワンピース
ブラウス、シャツなど



学生服、セーラー服
スラックス、スカート
ジャンパー
カーテンなど



洗濯できないもの(例)

芯地を多く使っており、型くずれするもの
ネクタイ、ジャケット、スーツなど

水につけるだけで著しい収縮や変色、表面変化を起こす恐れのある素材や型くずれしやすいもの
レーヨン、キュプラおよびその混紡品、絹、ウールなどの中で強撚糸使いの生地、ジョーゼット、クレープ、ちりめんなど

毛倒れするもの　ビロードなどのパイル地

表面の凹凸などが消えやすいもの
シワ、エンボス、樹脂加工品など

皮革、毛皮、装飾品の付いたもの

和服、和装小物

取扱い表示がないもの、素材が不明なもの
色落ちしやすいもの

防水性のマット・シートや衣類など ➡P3

洗濯前のチェック

初めて洗う衣類は、色落ちしないか確かめる

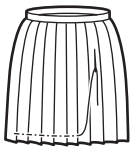
●洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認してください。



●スカーフや外国製の衣類には色落ちしやすいものがあります。

毛素材などでプリーツ加工のものは、開かないように糸で留める

●糸は乾いてから取ってください。



ボタン・刺しゅうが付いている衣類は裏返す

シミや部分汚れがないか確かめる

●シミは裏側にタオルをあて洗剤液を付け、一定方向にブラッシングしてください。



●ポケットまわり・そで口・えり・すその汚れは、洗剤液を付けブラシなどで軽くたたいて落としてください。



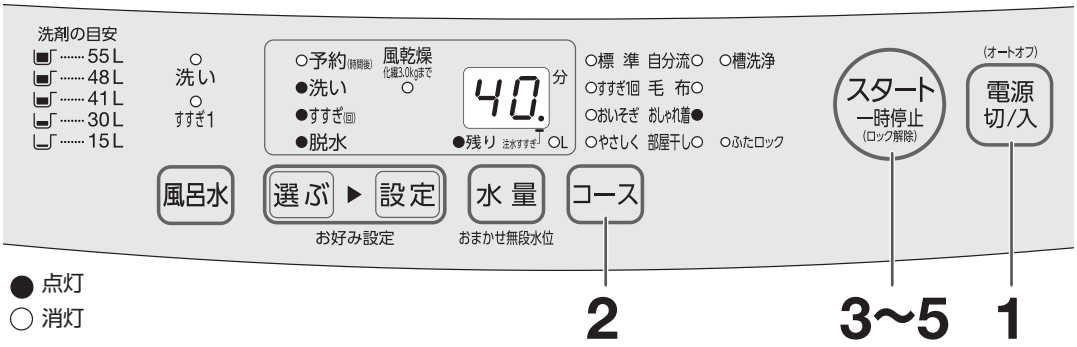
カーテンなどの大物以外は、洗い時間を6分以内にする

●自動設定は、4分になっています。
（縮みをおさえるため）

●カーテンのフックは、必ずはずしてください。

デリケートな衣類を洗濯する（つづき）

おしゃれ着コース



洗濯容量	1.5 kg以下

■洗える量の目安

水量	洗える量
55L	1.5 kg以下
48L 自動設定	
41L	0.8 kg以下
30L	0.2 kg以下

■ 重さの目安



お知らせ

- 水量は48Lに自動設定されます。
  お好みで変更できますが、布傷みを防ぐため15Lは設定できません。
- 洗濯終了後、すぐに衣類を取り出し、陰干ししてください。長時間放置するとシワや縮みの原因になります。

1 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

2 コース 「おしゃれ着」を選ぶ

- 必要に応じ、風呂水 を設定してください。

3 スタート 一時停止 (ロック解除) スタートする

4 給水が止まったら、スタート 一時停止 (ロック解除) で一時停止し、液体中性洗剤を「洗濯・脱水槽」内に入れ、手で軽く混ぜる

- 洗濯・脱水槽内の水温を30℃以下にしてください。
- 必要に応じ、柔軟剤を入れてください。➡P10

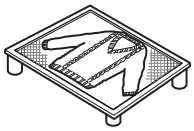
5 洗濯物をたたんで水中に押し込み、上ぶたを閉め、スタート 一時停止 (ロック解除) 再スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

干しかた　• 風通しの良い日陰に干してください。

ウール、アンゴラ
カシミヤなどのセーター



形を整え、裏返して平干し

絹、麻などの
ブラウスやワンピース



ハンガー干し

スカート



型を整えてハンガー干し
(伸びやすいものは平干し)

スラックス



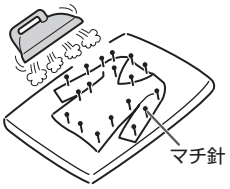
折り目を合わせて
ハンガー干し

縮んだとき

1 伸ばしたい寸法に広げて
マチ針を打つ

2 スチームアイロンを浮かせた
状態でスチームをたっぷりかける

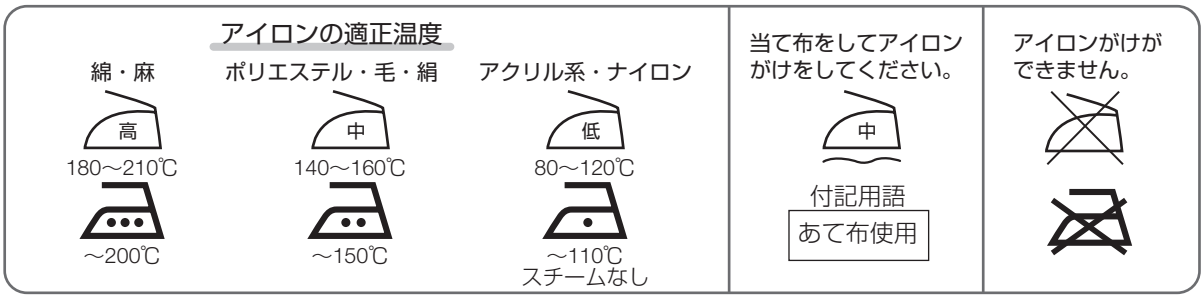
3 乾くまでそのままにしておく



• 衣類購入時に型紙をとっておくと便利です。

アイロン仕上げ

• 衣類の取扱い表示に従ってください。
• てかりの出やすいスカート・スラックスや刺しゅう・ビーズの付いたものは当て布をしてください。



■セーター

全体の仕上げ

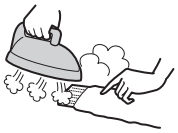
スチームアイロンを
軽く浮かせて
スチームをかけ、
形を整える



そで口などの部分仕上げ

手でたて方向に引っ張って
形を整える

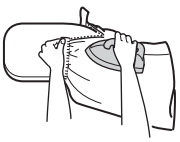
- 伸びきったゴム編み部分には、たっぷりスチームをかける
- 押さえがけは、しない



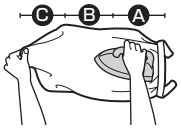
■スカート

左手を常に使い、少し引っ張るようにするのがポイントです。

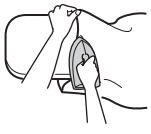
1 ファスナー
まわりを
かける



2 Ⓐ の部分
から順に、
3段階に分
けてかける



3 すそを
微調整する

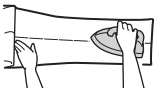


■スラックス

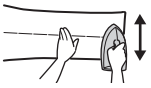
1 ファスナーまわ
りと腰まわりを
プレスする



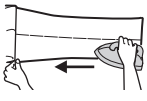
2 センターを
プレスする



3 すそを
プレスする



4 前・後の線を
プレスする



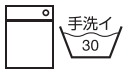
毛布・ふとんを洗濯する

毛布コース

毛布・掛けふとんなどの大物の洗濯に適しています。
必ず、大物洗い用洗濯ネット(CN-3)**をご使用ください。** 別売➡P38
使用しないと洗濯物が洗濯・脱水槽からはみ出し、擦れて洗濯物や本体を傷めたり、水が飛び散ったりする恐れがあります。
「風乾燥」は設定できません。

洗濯できるもの

毛布

取扱い表示が  の

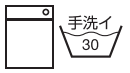
●アクリルまたはポリエステル100%の毛布
大きさ　ダブルサイズ（180cm×230cm）以下

洗濯容量	4.2 kg以下

●綿毛布
大きさ　シングルサイズ（140cm×200cm）以下

洗濯容量	6.0 kg以下 1.5kgのもの 4枚まで

ふとん

取扱い表示が  の

●中わたがポリエステル100%の夏掛けふとん
大きさ　180cm×210cm以下

洗濯容量	1.8 kg以下 中わた：1kg以下

●洗濯機で洗えると記載されている羽毛掛けふとん
大きさ　150cm×210cm以下

洗濯容量	1.8 kg以下

洗濯できないもの

毛布

●純毛の毛布

●電気毛布
電気毛布は洗えるものと洗えないものがあります。電気毛布の取扱説明書に従ってください。

●ロングパイル(毛足1cm以上)の毛布
洗濯すると毛倒れする恐れがあります。

ふとん

●取扱い表示のないもの

●側生地がタオル地のもの
(毛足1cm以上)
洗濯すると毛倒れする恐れがあります。

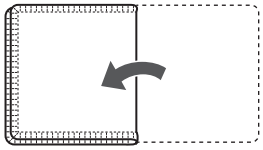
●中綿がポリエステル、羽毛以外のもの

洗濯前の準備

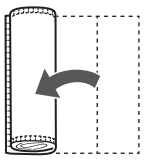
大物洗い用洗濯ネットに入れてください

シングルサイズの場合

1 長い方を2つ折りにする



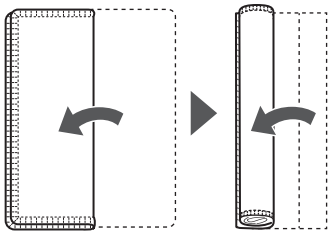
2 同じ方向に3つ折りにする



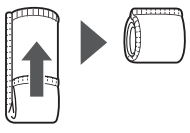
ダブルサイズの場合

1 短い方を2つ折りにする

2 同じ方向に3つ折りにする



3 巻く

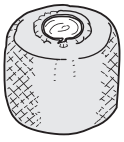


4 フチのある方を下にして洗濯ネットに入れる



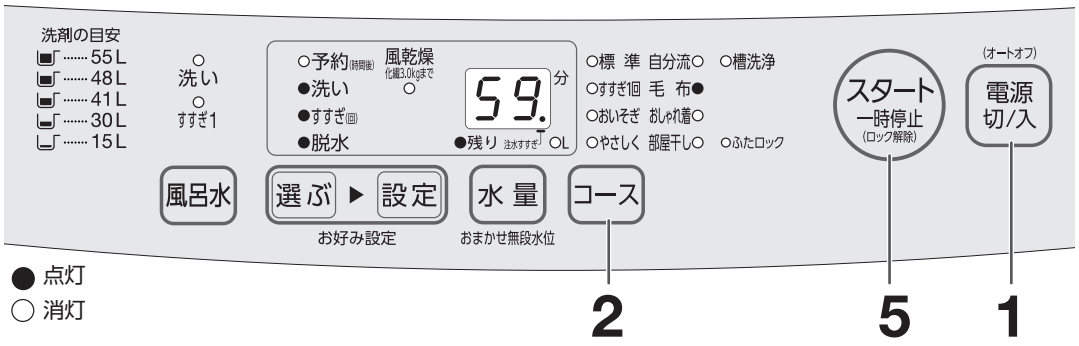
5 ひもを固くリボン結びにする

- リボン部分は洗濯ネットと毛布の間にはさみ込んでください。



お願い

- ゴミや糸くずは、取り除いておいてください。
- 綿毛布を2枚以上入れる場合は、重ねて折りたたんでください。



ご注意

- 洗剤は、入れすぎないようにしてください。入れすぎると溶けずに残ることがあります。
- 夏掛けふとん・羽毛掛けふとんは、水に浮かないように均一によく押し込んでください。

お知らせ

- 水量は55Lに自動設定されますが、48Lに変更することもできます。
- 洗濯時間の短縮と洗濯液を毛布に吸収させるために少ない水量から「洗い」が始まります。

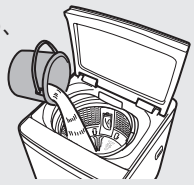
1 水栓を開き、電源切/入 電源を入れる

2 コース 「毛布」を選ぶ

- 必要に応じ、風呂水 を設定してください。

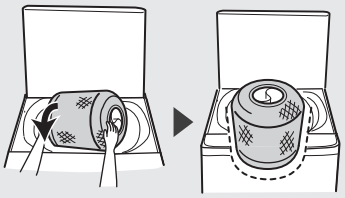
3 洗剤を入れる

- 粉末合成洗剤は、溶け残りをなくすため、約30℃のぬるま湯(約5L)に入れ、よく溶かしてください。溶かさずに入れると、白く残ることがあります。
- 液体洗剤・柔軟剤・漂白剤 ➡P10



4 洗濯ネットに入れた毛布・掛けふとんを入れる

- 入れにくいときは…
  ①横向きに入れ、
  ②洗濯・脱水槽内で、洗濯ネットの口側が上になるように起こす。



5 上ぶたを閉め、スタート 一時停止 (ロック解除) スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

洗濯が終わったら

取り出すときは

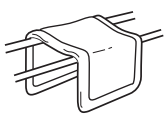
洗濯ネットのひもをほどき、
毛布・掛けふとんの
中心部を持って引き出す



乾燥は

風通しのよい日陰で自然乾燥、または
毛布乾燥機能のある衣類乾燥機で乾燥する

- 毛布は生乾きのうちにブラッシングするときれいに仕上がります。
- 綿毛布・掛けふとんの乾燥は、その取扱い表示に従ってください。



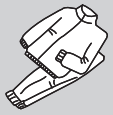
風乾燥をする

洗濯・脱水槽の高速回転で大量の風をとり込み、ヒーターを使わない省エネ方式で洗濯物の水分を飛ばします。少量の化繊混紡衣類の乾燥や、洗濯物の干し時間の短縮に使用します。
「やさしく」「毛布」「おしゃれ着」「槽洗浄」コースでは、設定できません。

- 洗濯物の量・種類、室温・湿度、設置環境により仕上がり具合が変わります。
- 乾きムラや乾燥不足があるときは、その程度に応じて再度運転してください。
- ヒーターを使わないため、洗濯物が冷たく、乾いていないように感じる場合があります。

風乾燥できるもの

(例)


トレーニングウェア


ワイシャツ


作業服

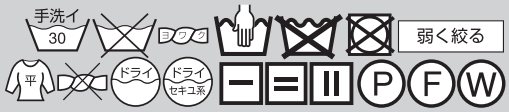
ほぼ乾燥できる容量：化繊 3kg以下

ご注意

- 洗濯物の入れすぎは、乾燥不足や、シワ、洗濯物の飛び出しによる破れの原因になります。
- **フリースなど厚手の衣類を風乾燥するときは、容量を2kg以下にしてください。**運転中に飛び出し、破れる原因になります。

風乾燥できないもの

次の取扱い表示のあるもの



色落ちしやすい衣類

ウールの衣類

シワが気になる衣類 (綿100%シャツなど)

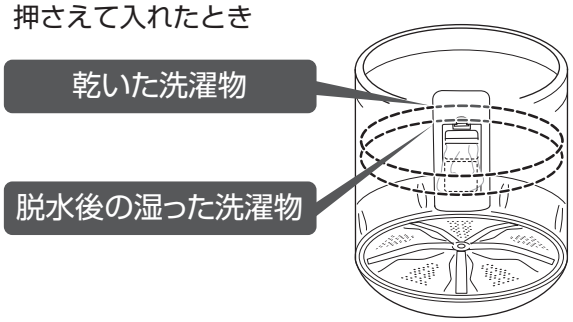
型くずれしやすい衣類 (肩パット入りなど)

防水性のマット・シートや衣類など ➡P3

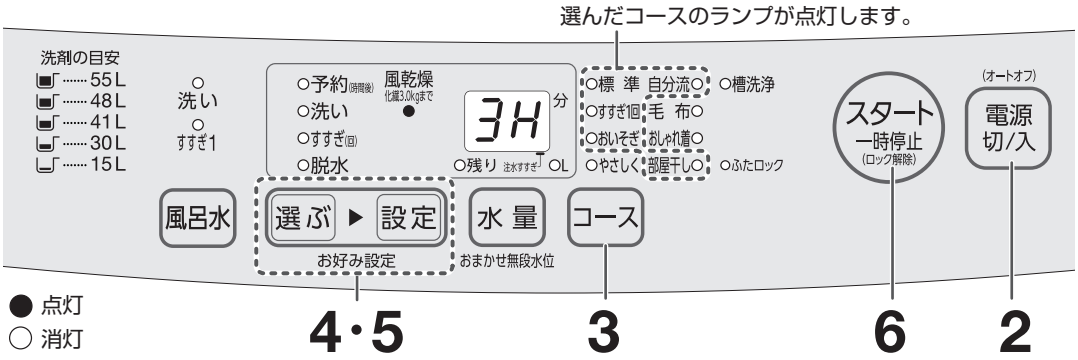
毛布・掛けふとん・シーツ

3kgの目安

押さえて入れたとき







洗濯容量	化繊 3kg 以下
風乾燥時間	3 時間（固定）



お知らせ

- 洗濯物をほぐすために定期的にかくはん運転をします。
- 「自分流」コースでは「風乾燥」を記憶します。
- 風乾燥のみを設定した場合でも 4H と表示することがありますが、実際の運転時間は風乾燥時間と設定した脱水時間の合計です。

洗濯コース＋風乾燥	風乾燥のみ

1 水栓を開く

- 風乾燥のみを設定する場合には、先に「脱水」を選ばないと設定できません。

2 洗濯物を入れ、電源 切/入 電源を入れる

- 風乾燥運転のみの場合、洗濯物をほぐして片寄らないように入れてください。振動が少なく乾きが早くなります。

3 コース 使用するコースを選ぶ

3 上ぶたを閉め、コース「標準」を選ぶ

4 選ぶ「脱水」を選び、設定 設定する

5 選ぶ「風乾燥」を選び、設定 設定する

6 スタート 一時停止 スタートする

7 給水が始まってから、洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 洗剤、柔軟剤、漂白剤 ➡P10

ブザーが鳴ったら、運転終了

8 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除する

コースの運転内容を変更する【お好み設定】

各コースの運転内容をお好みで変更して、「洗い」「すすぎ」「脱水」を個別に組み合わせたり、
時間やすすぎ回数・方法などの内容を変更したりできます。ただし、変更した内容は記憶しません。

1 水栓を開き、洗濯物を入れる
- 「毛布」➡P17「おしゃれ着」➡P14
  コースは、洗剤・洗濯物の入れかたが異なります。

2 電源 切/入 電源を入れる

3 コース 使用するコースを選ぶ

4 選ぶ 変えたい行程(洗い・すすぎ・脱水など)を選ぶ

5 設定 お好みの時間、すすぎ回数・方法を設定する
- 必要に応じ、風呂水「風乾燥」を設定してください。

6 スタート 一時停止(ロック解除) スタートする

7 必要に応じて洗剤を入れ、上ぶたを閉める
- 洗剤・柔軟剤・漂白剤 ➡P10

ブザーが鳴ったら、運転終了
水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

運転内容	操作方法 (●点灯 ○消灯 ☀点滅)
洗いのみ 水は残ります。	○予約 ☀洗い ○すすぎ ○脱水 → 選ぶ で「洗い」を選び、設定 で時間決定
すすぎのみ 排水→脱水から始めます。水は残ります。	○予約 ○洗い ☀すすぎ ○脱水 → 選ぶ で「すすぎ」を選び、設定 で回数・方法を決定
脱水のみ 水があれば、排水から始めます。	○予約 ○洗い ○すすぎ ☀脱水 → 選ぶ で「脱水」を選び、設定 で時間決定
洗い→すすぎ 水は残ります。	○予約 ☀洗い ○すすぎ ○脱水 → 選ぶ で「洗い」を選び、設定 で時間決定 ▶ ○予約 ●洗い ☀すすぎ ○脱水 → 選ぶ で「すすぎ」を選び、設定 で回数・方法を決定
洗い→脱水	○予約 ☀洗い ○すすぎ ○脱水 → 選ぶ で「洗い」を選び、設定 で時間決定 ▶ ○予約 ●洗い ○すすぎ ☀脱水 → 選ぶ で「脱水」を選び、設定 で時間決定
すすぎ→脱水 排水→脱水から始めます。	○予約 ○洗い ☀すすぎ ○脱水 → 選ぶ で「すすぎ」を選び、設定 で回数・方法を決定 ▶ ○予約 ○洗い ●すすぎ ☀脱水 → 選ぶ で「脱水」を選び、設定 で時間決定
洗い→すすぎ→脱水	○予約 ☀洗い ○すすぎ ○脱水 → 選ぶ で「洗い」を選び、設定 で時間決定 ▼ ○予約 ●洗い ☀すすぎ ○脱水 → 選ぶ で「すすぎ」を選び、設定 で回数・方法を決定 ▶ ○予約 ●洗い ●すすぎ ☀脱水 → 選ぶ で「脱水」を選び、設定 で時間決定
排水のみ 「標準」コースを設定してください。	○予約 ○洗い ○すすぎ ☀脱水 → 選ぶ で「脱水」を選び、設定 で時間決定 ▶ スタート 一時停止(ロック解除) スタートし、洗濯・脱水槽が回りはじめたら途中で一時停止 ▼ 電源 切/入 ふたロックが解除されたら電源を切って運転終了

「自分流」「毛布」「おしゃれ着」コースは、
使用しない行程を 0 に設定してください。

(例)「おしゃれ着」コースで「洗い→すすぎ」をしたいとき
選ぶ で「脱水」を選び、設定 で脱水時間を 0 に設定し、
スタート 一時停止(ロック解除) スタートする

お知らせ

- 変更した内容は記憶しません。記憶させたいときは、「自分流」コースをご利用ください。
- 「標準」「すすぎ1回」「おいそぎ」「やさしく」「自分流」「部屋干し」コースですすぎから開始すると、布量検知をしないで、水量は 55L になります。
  必要に応じて変更してください。

洗い時間

洗うもの(例)	
8分〜10分	普通の汚れもの
11分〜15分	汚れのひどいもの
0	洗いなし
1分〜7分	軽い汚れのもの

すすぎ回数・方法

	標準・部屋干し	すすぎ1回・おいそぎ やさしく・自分流 毛布・おしゃれ着
1回	シャワー1回+ため1回	ため1回
注水1回	シャワー1回+注水1回	注水1回
2回	シャワー1回+ため2回	ため2回
注水2回	シャワー1回+注水2回	注水2回
3回	シャワー1回+ため3回	ため3回
注水3回	シャワー1回+注水3回	注水3回
0	すすぎなし	すすぎなし

- 注水すすぎは、はじめにためすすぎをします。

脱水時間

脱水するもの(例)	
4分〜7分	普通の洗濯物
8分〜10分	厚手のもの
0	脱水なし
1分	シワになりやすいもの
2分〜3分	化　繊

「部屋干し」コースは、0分、30分のみ選べます。

予約運転をする

運転終了までの時間を予約できます。

「おしゃれ着」「槽洗浄」コースでは、設定できません。

お願い

- **水栓からの水もれがないか確認してください。**
- 色移りしやすい衣類は、一緒に洗濯しないでください。
- 衣類のシワ付きを防ぐため、運転終了後、すぐに干してください。

粉石けん

固まる場合があるため、使わないでください。

柔軟剤

予約時は長時間放置するため、衣類の上にこぼした場合は、水洗いしてください。
落ちないときは、洗剤を付けてもみ洗いしてください。(シミ・色落ち・傷みの原因)

漂白剤

酸素系をお使いください。塩素系は、変色や損傷の原因になるため、使わないでください。



お知らせ

- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときは、予約が取り消されます。
- 運転終了までの時間は、水道水圧・排水条件などで変わります。
- 布量検知をしないため、水量表示はしません。

予約待機中の運転内容の確認	設定 を押す
予約の取り消し	電源を切る
予約の変更	電源を切り設定し直す

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

- 「毛布」コース ➡P17 は、洗剤・洗濯物の入れかたが異なります。

2 電源 切/入 電源を入れる

3 コース 使用するコースを選ぶ

- 必要に応じ、水 量 風呂水「風乾燥」を設定してください。

4 選ぶ「予約」を選ぶ

5 設定 運転終了までの時間を設定する

- 最長 24 時間後までを1 時間単位で予約できます。

(例) 2時間後に運転を終了させる場合



6 洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 洗剤類の使いかた 使用量 ➡P9
- 予約時の洗剤の入れかた ➡下記

7 スタート 一時停止 (ロック解除) スタートする

- スタートして約1分後、予約ランプ以外が消灯します。

ブザーが鳴ったら、運転終了

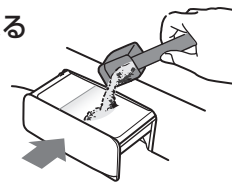
水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

予約時の洗剤の入れかた

粉末合成洗剤

「洗剤投入容器」を手前に引き出し、洗剤を入れる

- 洗剤投入容器がぬれていると洗剤がこびり付くため、あらかじめ乾いた布で拭いてください。
- 洗剤投入容器はしっかり閉めてください。(水もれの原因)





非コンパクトタイプの粉末合成洗剤の場合
(水30Lに対して40ｇ以上)

洗濯物にふれないように白物のハンカチなどに軽く包み、洗濯・脱水槽の周辺部に押し込む

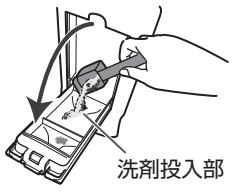


(洗剤に含まれている蛍光剤による衣類の変色を防ぐためです。)

粉末漂白剤

「糸くずフィルター」の「洗剤投入部」に入れる

- 洗剤投入部がぬれていると漂白剤がこびり付くため、あらかじめ乾いた布で拭いてください。
- 糸くずフィルターの奥のすみには入れないでください。漂白剤が残ることがあります。
- 漂白剤を入れた後、糸くずフィルターを閉めてください。



液体洗剤・液体漂白剤・柔軟剤

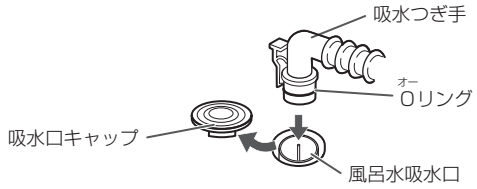
すぐに洗濯する場合と同じ場所に入れる
➡P10

風呂水を使って洗濯する

風呂水吸水ホースの準備

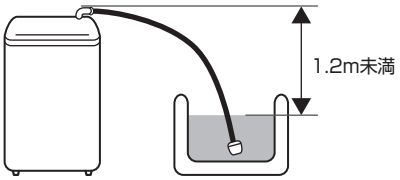
1 吸水口キャップをはずし、吸水つぎ手を風呂水吸水口に差し込む

- 吸水口キャップはなくさないよう保管してください。
- 上に持ち上げてはずれないか確認してください。
- Oリング（オー）は、はずしたり傷付けたりしないでください。吸水できなくなります。



2 浄化フィルターを浴槽に沈める

- 風呂水吸水ホースの最も高い位置から水面までの高さは、1.2m未満にしてください。

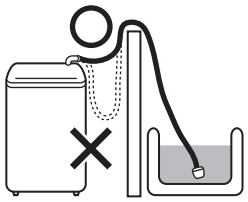


風呂水給水ホースが短い場合
…別売の風呂水吸水ホース、浄化フィルターをお買い求めください。 別売 ➡P38

セット時のご注意

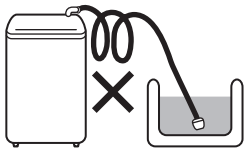
▶高い壁を越えるときは、たるみをなくす

- 吸水できません。



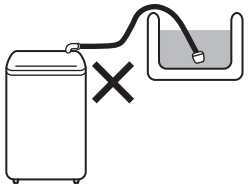
▶巻いたまま使用しない

- 吸水できません。



▶本体が浴槽の水面より低い場所では使わない

- サイフォン現象により、水があふれます。



▶浄化フィルターが浮き上がらないようにする

- 吸水中は水の重さで風呂水吸水ホースが垂れ下がり浄化フィルターが浮き上がりやすくなります。おもりなどで浮き上がらないようにしてください。

▶風呂水吸水ホースを傷付けない

- 吸水できません。

▶引き戸などで、はさまない

▶無理な力をかけたり、引っ張ったり、ふんだりしない

▶コンクリート角やとがった金属物（サッシ窓や浴室ドア）とのこすれに気をつける

風呂水吸水ホースの片付け

使わないときは、本体から風呂水吸水ホースを取りはずしてください。

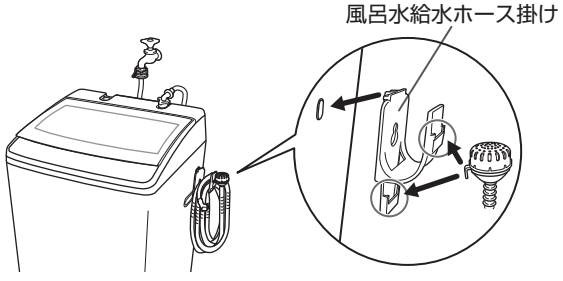
1 浴槽から浄化フィルターを取り出し、本体から吸水つぎ手を取りはずし風呂水吸水ホース内の残水を抜く

お手入れ 風呂水吸水口 **1・2** ➡P28

- 洗濯物は洗濯・脱水槽から出しておいてください。
- 浄化フィルターを浴槽に入れたまま、吸水つぎ手をはずさないでください。

2 風呂水吸水口に吸水口キャップをする

3 風呂水吸水ホース掛けを本体に掛け、下図のように収納する



お買い上げ後、初めて使用するときは
水道水による運転を行ってください。

- 本体内蔵の風呂水ポンプの中に、風呂水を吸い上げる運転に必要な一定量の水（呼び水）を給水させるためです。

■風呂水使用行程の設定のしかた

風呂水	表示 ●点灯 ○消灯	洗い　すすぎ1
1回押す	● 洗い ○ すすぎ1	
2回押す	● 洗い ● すすぎ1	
3回押す	○ 洗い ○ すすぎ1	風呂水は使用しません

「すすぎ1」まで風呂水を設定すると

- すすぎが1回の場合でも、風呂水になります。
- すすぎが2回以上の場合、2回目以降のすすぎは水道水になります。
- 「標準」「部屋干し」コースのシャワーすすぎは水道水になります。
- 注水すすぎでは、設定水位までは風呂水、その後は水道水になります。

■はじめは水道水による給水

水道水の給水 ➡ 風呂水の吸水

- 風呂水ポンプへの呼び水のため、風呂水吸水前に水道水が給水されます。
- ホース内の空気を抜くため、風呂水を吸水するまで約１分かかります。

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

- **必ず水栓を開けてください。**
  呼び水や水道水によるすすぎ時、柔軟剤の投入時、給水中に風呂水がなくなったときに、水道水が必要です。
- 「毛布」➡P17 「おしゃれ着」➡P14 コースは、洗剤・洗濯物の入れかたが異なります。

2 電源 切/入 電源を入れる

3 コース 使用するコースを選ぶ

- 必要に応じ、「風乾燥」を設定してください。

4 風呂水 風呂水の使用行程を設定する

5 スタート 一時停止（ロック解除） スタートする

- 水のない状態でパルセーターが回転し、水量を表示します。（「毛布」「おしゃれ着」コースを除く）　布量検知 ➡P7

6 給水が始まってから洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 粉末合成洗剤は溶け残りを防ぐため、「洗濯・脱水槽」内に均等に入れてください。
- 液体洗剤・漂白剤・柔軟剤 ➡P10

ブザーが鳴ったら、運転終了
水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

お願い

- 入浴剤は柔軟剤と反応して衣類にうすい変色をおこすことがあります。入浴剤の注意書を確認してください。変色した場合は、すぐに洗剤を入れて洗濯してください。
- 発泡性のある入浴剤では、ポンプ内部の発泡により吸水できない場合があります。



お知らせ

- 風呂水を正しく吸水しなかったり洗濯途中で風呂水がなくなったりした場合は、水道水に切り換わり運転を継続します。
- 「風呂水」はスタートして約40秒後に設定内容を記憶します。電源を入れると前回設定した内容が点灯します。
- お好み設定と風呂水設定が異なる場合は、お好み設定の洗濯内容で進行します。
  （例）お好み設定を「洗い」のみ、風呂水設定を「洗い～すすぎ1」にした場合、運転は洗いで終了します。すすぎは行いません。

こんなとき

のりづけをしたい

洗濯容量 1.5kg以下

使用できるのり

洗濯機用の化学合成のり(酢酸ビニール系)

- 故障の原因になるため、上記以外は使わないでください。

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

2 電源 切/入 電源を入れる

3 コース「標準」を選び、

水 量 (下表参照)・洗い「3分」・脱水「1分」を設定する

水量	洗える量
41L	1.5 kg 以下
30L	1.0 kg 以下

お好み設定 ➡P20

4 スタート 一時停止 (ロック解除) スタートする

5 給水が止まったら、スタート 一時停止 (ロック解除) で一時停止し、洗濯のりを「洗濯・脱水槽」内に均等に入れる

6 上ぶたを閉め、スタート 一時停止 (ロック解除) 再スタートする

7 運転終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出す

ご注意

- のりづけした洗濯物は、衣類乾燥機で乾かさないでください。
  (乾燥機のフィルター目詰まりの原因)
- 糸くずフィルターを掃除してください。たまった糸くずなどが、のりで固まって取れにくくなります。

糸くずフィルター ➡P26

のりづけ後は洗濯・脱水槽を洗ってください

のりが残っていると、故障の原因になります。

1 洗濯物を取り出した後、

電源 切/入 電源を入れ、

コース「おいそぎ」を選び

水 量「55L」・洗い「5分」・脱水「1分」を設定する

お好み設定 ➡P20

2 上ぶたを閉め、スタート 一時停止 (ロック解除) スタートする

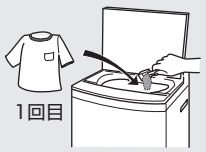
- 運転終了後、水栓を閉じてください。

洗濯液を2回使いたい

次の手順とお好み設定 ➡P20 をお読みください。

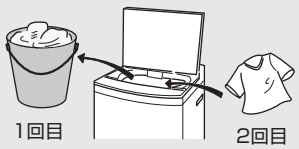
1回目は軽い汚れのもので、汚れのひどいものは2回目に洗いましょう。

1 1回目の洗濯物と洗剤を入れ、使用するコースで「洗い」のみ運転をする



2 洗濯物を取り出し、2回目の洗濯物を入れる

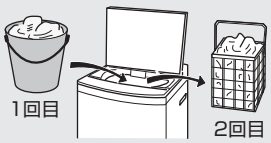
- 洗濯物が洗濯液にひたるよう、上から押さえます。
- 必要に応じて洗剤を追加します。直接、「洗濯・脱水槽」内へ入れてください。



3 使用するコースと水量を設定し、「洗い→すすぎ→脱水」運転をする

4 運転終了後、2回目の洗濯物を取り出し、1回目の洗濯物を戻す

- 洗濯物は均等に入れてください。



5 使用するコースと水量を設定し、「すすぎ→脱水」運転をする

水を追加したい

「洗い」「すすぎ」の運転中に 水 量 を押す

- 押している間、水を追加します。

- 水を追加しても水量表示は変わりません。
- 満水になると注水は止まります。

終了ブザー音を消したい

電源「入」の状態で スタート 一時停止 (ロック解除) を約6秒間押し続ける

●「ピッ」と鳴り、設定が完了

- 運転終了時は自動的に「終了ブザー音あり」に戻ります。
- 電源を切った場合も「終了ブザー音あり」に戻ります。
- 「終了ブザー音なし」の設定は毎回行ってください。

凍結の恐れがある

運転終了後も、給水ホースや風呂水吸水ホース、洗濯・脱水槽内には水が少し残っています。
気温が低くなると、その水が凍結してしまうことがあります。

凍結防止方法

その1 凍結防止(残水排水)設定をする

運転終了して9分後、残水を自動で排水します。
設定すると運転終了から10分間 Ud を表示します。
電源が切れると設定は解除されます。

電源「入」の状態で
選ぶ を約6秒間押し続ける
●「ピッ」と鳴り、設定完了

解除 設定時と同じ操作をする
●「ピッピッピッ」と鳴り、解除完了

その2 給水ホース、風呂水吸水ホース、洗濯・脱水槽内の水を抜く

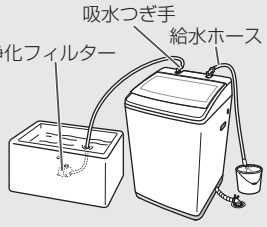
1 水栓を閉じ、上ぶたを閉める

2 電源 切/入 電源を入れ、コース「おしゃれ着」を選ぶ

3 スタート 一時停止 (ロック解除) スタートし、すぐに 電源 切/入 電源を切る

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

4 給水ホースの水栓側をはずし、給水ホース内の残水をバケツなどで受ける



5 浴槽から浄化フィルターを取り出す

6 電源 切/入 電源を入れ、コース「おしゃれ着」を選び、風呂水 を押す

7 スタート 一時停止 (ロック解除) スタートし、約1分後に 電源 切/入 電源を切る

- 風呂水吸水ホース内の残水を吸い上げるためです。

8 吸水つぎ手を風呂水吸水口からはずし、風呂水吸水ホース内の残水をバケツなどで受ける

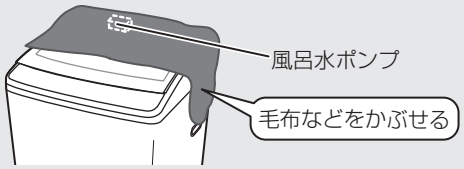
9 電源 切/入 電源を入れ、コース「標準」を選び、脱水「1分」を設定する

10 スタート 一時停止 (ロック解除) スタートする

- 洗濯・脱水槽内の水を排水するためです。

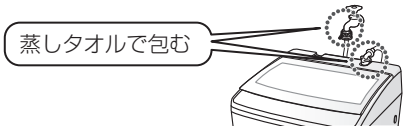
その3 風呂水ポンプ部を保温する

内蔵している風呂水ポンプには常に水が入っています。
本体の後ろ上部に毛布などをかぶせて保温してください。



凍結したときは…

1 給水ホースの接続部を蒸しタオルで包む



2 水栓を閉じ、給水ホースをはずし、お湯(50℃未満)につける

- 風呂水吸水ホース・浄化フィルターも同様にお湯につける。



3 約2Lのお湯(50℃未満)を洗濯・脱水槽に入れ、約10分間放置する

4 給水ホース・風呂水吸水ホースをつないで水栓を開き、次の内容を確認する

- 手でパルセーターが回せるか
- 運転して給水・排水するか
- 風呂水を吸水するか

お願い

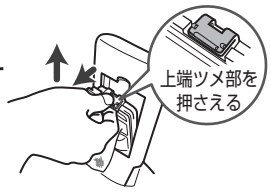
- 風呂水ポンプ・風呂水吸水ホースなどは、凍結した状態で使わないでください。
（故障の原因）

お手入れ

毎回　糸くずフィルター

ネットが目詰まりすると、ゴミが取れにくくなります。

1 **糸くずフィルターの上端ツメ部を下に押さえながら手前に引き、上に引き抜く**



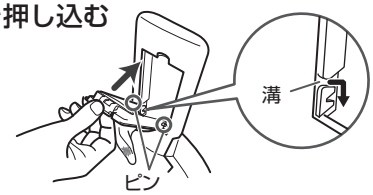
2 **ネットを裏返して糸くずを取り除いてから、水中でネットを洗う**

- 裏返したネットは、元どおりにしてください。



（ネットが乾いているときは、水中でなくても、ネットを裏返すと簡単にゴミをはがし取ることができます。）

3 **糸くずフィルターのピン2カ所を洗濯・脱水槽内の溝に差し込み、上端ツメ部を押し込む**



お願い

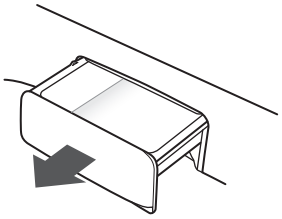
- 衣類が傷む原因になるため、必ず取り付けて洗濯してください。

お知らせ

- 糸くずをためたまま洗濯をするとネット部の寿命が短くなったり、糸くずが逆流して洗濯物に付いたりする場合があります。お手入れは毎回行ってください。
- 消耗部品のため、ネットが破れたときは、お買い上げの販売店にてお買い求めください。　別売➡P38

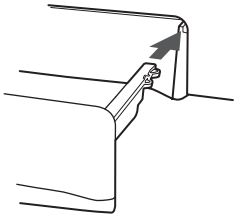
必要に応じて　洗剤投入容器

1 **手前に引き出し、そのまま引き抜く**



2 **水洗いする**

3 **洗剤投入容器を本体に合わせて水平にはめこむ**



お知らせ

- 「洗剤投入容器」をはずしたまま、運転をしないでください。（水もれの原因）

必要に応じて　本　体

水滴、糸くず、汚れが付いたら…

水を含ませたやわらかい布で拭いてください。

- 汚れがひどい場合は、うすめた台所用中性洗剤または石けん水を付けて拭き取った後、絞ったやわらかい布で水拭きしてください。

ご注意

- 上ぶたなどのプラスチック部分や本体に、洗剤・柔軟剤・漂白剤が付いた場合…
  水を含ませたやわらかい布ですぐに拭き取ってください。放置するとプラスチック部品が割れる原因になります。
- 住宅用合成洗剤・クレンザー・ベンジン・シンナーなどで拭かないでください。プラスチック部品を傷めます。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- 上ぶた（ガラス面）に薬品やガラスクリーナーなどを使わないでください。周辺部品のさびや破損の原因になります。

必要に応じて　給水口

給水口にゴミがたまると、水の出かたが悪くなります。

1 **水栓を閉じ、電源切/入 電源を入れる**

2 **コース 「おしゃれ着」を選ぶ**

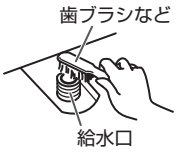
3 **スタート 一時停止（ロック解除） スタートし、すぐに 電源切/入 電源を切る**

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。



4 **袋ナットをゆるめてはずし、歯ブラシなどでゴミを取り除く**

5 **袋ナットを傾きのないように確実に締め付ける**



月1回程度　排水口

排水口には糸くずや汚れがたまりやすいため、定期的に糸くずなどを取り除いてください。放置すると臭いの原因、排水できない原因になります。



石けんカス・黒カビ

■石けんカス・黒カビを防ぐために

- 長期間のご使用で、石けんカス（黒いもやもやとしたもの）が発生し、洗濯物に付くことがあります。洗剤の入れすぎや溶け残りがないようにしてください。
- 使わないときは上ぶたを開放し、洗濯・脱水槽内の水分を取り除いてください。

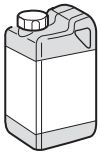
■石けんカス・黒カビが発生したら…

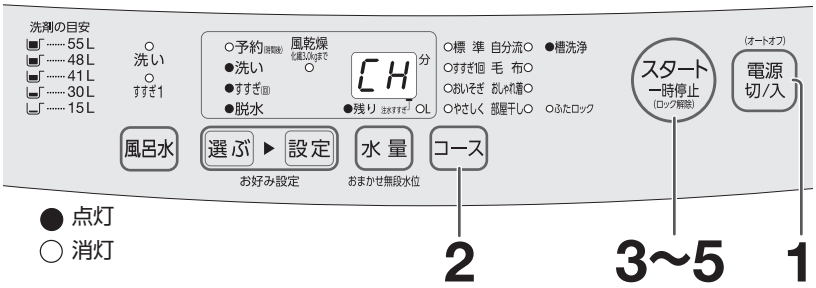
- 本製品は「自動おそうじ」を行いますが、汚れの種類や程度によっては洗い流せない場合があります。石けんカス·黒カビが発生した場合は、「槽洗浄」コースを運転してください。

槽洗浄コース

別売の洗濯槽クリーナー(SWCLEAN-1)で、洗濯・脱水槽を洗浄します。
洗濯物は入れないでください。

別売 ➡P38





所要時間	約12時間

運転前

- 刺激臭がします。換気を十分にしてください。
- 洗濯槽クリーナーの説明書をよくお読みください。
- 糸くずフィルターが掃除されていることを確認してください。
- ゴム手袋などをして肌を保護してください。

運転後

- 浮き出た石けんカスは拭き取ってください。
- 糸くずフィルターを掃除してください。

お願い

- 洗浄液を入れたまま24時間以上放置しないでください。
（故障の原因）

お知らせ

- 運転内容の変更はできません。

1 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる
- 洗濯物は入れないでください。

2 コース「槽洗浄」を選ぶ

3 スタート 一時停止 スタートする

4 給水が止まったら、スタート 一時停止 で一時停止し、洗濯槽クリーナーを全て(1.5L)入れる

5 上ぶたを閉め、スタート 一時停止 再スタートする
- 洗濯槽クリーナーを混ぜるための数分間のかくはん後、約10.5時間つけおきをします。その後、洗い、すすぎ、脱水をします。

ブザーが鳴ったら、運転終了
水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

さび

■さびを防ぐために

- 赤さびの混じった水やヘアピンなど、さびやすいものを入れないでください。
- 水を入れたまま長時間放置しないでください。

■さびが付いたら…

- **やわらかい布かスポンジに、市販のクリームクレンザーを付けてさびを拭き取ってください。**
洗濯・脱水槽を傷めるため、金属たわしなどは使わないでください。

お手入れ（つづき）

風呂水吸水ホース関係

お手入れの前に…
洗濯物は、洗濯・脱水槽から出しておいてください。
- 風呂水吸水ホースの残水でぬれるのを防ぐためです。

⚠ 注 意

浄化フィルターを浴槽に入れたまま、吸水つぎ手をはずさない
（サイフォン現象により水があふれ出し、床をぬらす原因）

必要に応じて　風呂水吸水ホース

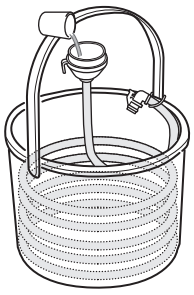
別売の洗濯槽クリーナーで洗浄します。　別売➡P38

1 浴槽から浄化フィルターを取り出し、本体から風呂水吸水ホースを取りはずす
風呂水吸水口 **1・2** 参照

2 浄化フィルターのストレーナを左に回してはずす
浄化フィルター**1** 参照

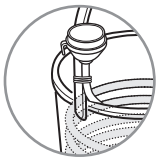
3 風呂水吸水ホースをバケツなどに入れ、吸水つぎ手を固定する

4 うすめた洗濯槽クリーナーを流し込む
- 洗濯槽クリーナー（15mL）は水（500mL）でうすめてください。
- あふれないように少しずつ入れてください。



ご注意
- ゴム手袋などをして肌を保護してください。
- 衣類に付かないように注意してください。

5 フィルターカバーを固定し、約6時間つけおきする

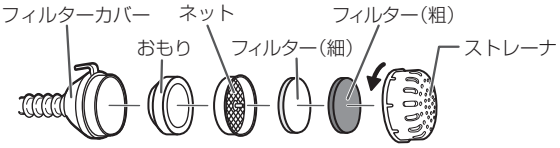


6 風呂水吸水ホースの内部を水道水ですすぐ

7 元どおりに取り付ける

週1回程度　浄化フィルター

1 ストレーナを左に回してはずす



2 ストレーナとフィルター（細）・（粗）、ネットを水洗いする

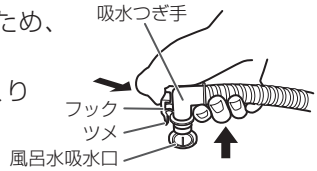
3 元どおりに取り付ける
①おもり、ネット、フィルター（細）、フィルター（粗）の順にフィルターカバーにはめ込む
②ストレーナをフィルターカバーにかぶせ、右方向へ止まるまで回して取り付ける

お知らせ
- フィルター（細）・（粗）は消耗部品です。お買い上げの販売店にご相談のうえ、お買い求めください。
別売➡P38
- ゴミが詰まったまま使用すると、風呂水の出かたが悪くなり、吸水量不足で自動的に水道水に切り換わる場合があります。

月1回程度　風呂水吸水口（ポンプフィルター）

1 浴槽から浄化フィルターを取り出す
- 排水できるところに置いてください。

2 吸水つぎ手を取りはずし、風呂水吸水ホース内の残水を抜く
- 水の飛び散りを防ぐため、フックを指で押し、ツメをはずしてゆっくり持ち上げます。



3 ポンプフィルターを取り出し、ゴミを洗い流す
- ポンプフィルターの中央の突起を前後左右に倒し気味にして取ると簡単に取り出せます。



4 元どおりに取り付ける
- ポンプフィルターは、必ず取り付けてください。（風呂水ポンプの故障の原因）

ご注意
- ゴミが詰まったまま使用すると、風呂水の出かたが悪くなります。

据え付け

据え付けは販売店または専門業者にご依頼ください。

この据え付けかたどおりに設置・取り付けをしないと事故・損害を生じても当社は一切責任を負えません。

据え付け前に、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
据え付け後は、必ず試運転をして、水もれや異常音が発生しないことを確認してください。

1 据え付け場所の確認
2 排水ホースの処理 ➡ P30
3 水平の確認と調整 ➡ P31
4 給水ホースの取り付け ➡ P32
5 アース・電源 ➡ P33
6 設置確認・試運転 ➡ P34

1 据え付け場所の確認

⚠ 警 告

浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない
（感電・漏電火災の原因）

お願い

- 排水口には、糸くずや汚れがたまりやすく、放置すると臭いの原因、排水できない原因になります。据え付け前に排水口の掃除をしてください。

お知らせ

- 洗濯・脱水槽に水滴が残っていたり排水ホースから水が出たりすることがありますが、工場での検査時のものです。故障や不良ではありません。

次のような場所には、設置しない

- **直射日光のあたる場所**
  （プラスチック部品の変色 ・ 変形の原因）
- **冬期に凍結の恐れのある場所**
- **平らでない床・弱い床・凸凹な床の上**
  振動や騒音が大きくなります。床が弱いときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- **高い置台の上**
  （底部と床の隙間から、子供などが手を入れ、けがをする原因）

しっかりした水平な床に据え付ける

傾斜した床や弱い床、不安定な台の上は振動や騒音が大きくなります。

テレビ・ラジオなどの家電製品に近付けない

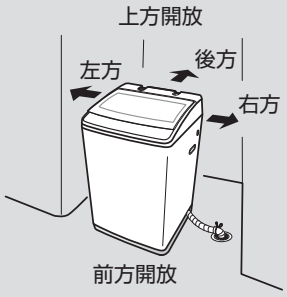
（画像の乱れ・雑音の原因）

包装用台座は据え付け台として使わない

（本体故障の原因）

本体は前方や上方を開放し、壁から表の寸法以上離すこと

異常な振動や音を防ぐためです。

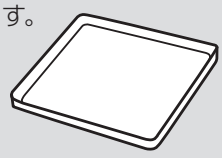


場所	離隔距離(cm)
左方	※1.5
右方	※1.5
後方	1.5
下方	0

※排水ホース側は、壁から8cm以上、真下排水パイプを使用した場合、排水ホース側は壁から15cm以上

洗濯機トレーの使用をおすすめします

気温と水温の差が大きいと、本体の内側に結露（露付き）が生じます。この結露や水はねで床をぬらすことを防ぐためです。



別売 ➡ P38

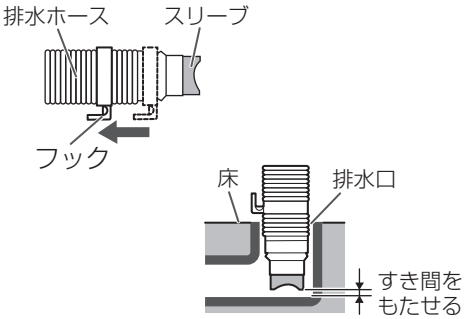
据え付け（つづき）

2 排水ホースの処理

排水ホースを排水口に差し込む

フックをずらし、排水口に差し込む

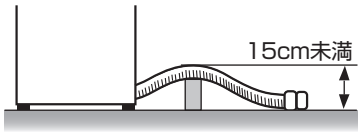
スリーブは、排水ホース先端がふさがれて排水が悪くならないようにすき間をもたせるものです。必ず取り付けてご使用ください。



排水ホースは、排水時の水の力や振動などで動く場合がありますので、排水口にしっかり差し込み抜けないことを確認してください。

ご注意

- 敷居などで排水ホースが高くなると、排水できないことがあります。途中の立ち上がりは15cm未満にしてください。

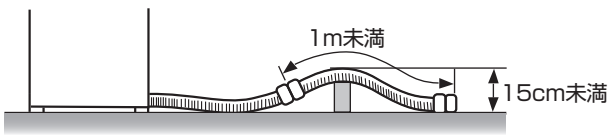


排水ホースを延長する場合

別売の**排水ホース補修キット**をお買い求めのうえ、取り付けてください。 別売 ➡P38

排水ホースを延長する場合や途中で高くなる場合は、次の表に従ってください。

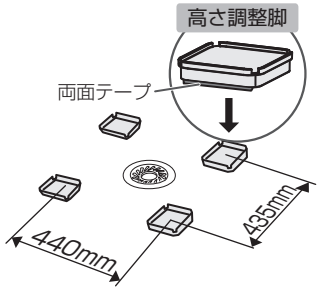
排水ホースの状態	排水ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	15cm未満	1m未満
途中で高くならない場合	—	3m未満

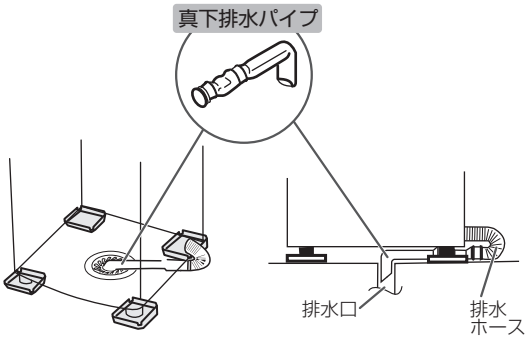


排水口が本体の下にある場合

別売の**真下排水パイプ**と**高さ調整脚**をお買い求めください。 別売 ➡P38

※取り付け方法は、それぞれ別売部品の説明書に従ってください。





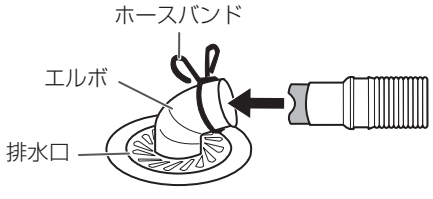
ご注意

- 必ず高さ調整脚を敷いてください。本体が真下排水パイプに乗り上げて異常振動したり、破れて水もれしたりする原因になります。
- 洗濯パンのエルボがある場合は、エルボを取りはずして真下排水パイプをご使用ください。

排水口がエルボの場合

排水ホース先端部をエルボにしっかり差し込み、**ホースバンド**(別売)で確実に固定してください。

別売 ➡P38



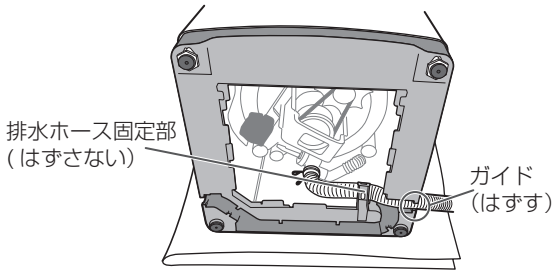
2 排水ホースの処理（つづき）

排水ホースを左側に付け換える場合

出荷時、排水ホースは本体右側から引き出されています。
排水口の位置が本体左側にある場合は、次の手順で付け換えてください。

1 毛布などを敷き、本体を後側へ静かに倒す

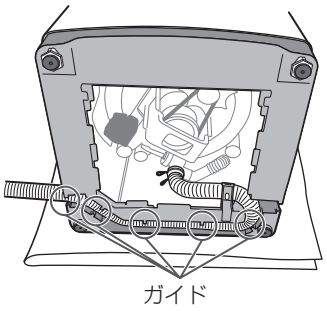
2 ガイド1カ所から、排水ホースをはずす



ご注意

- **排水ホースを固定している排水ホース固定部は絶対にはずさないでください。**
（水もれ・異常振動の原因）

3 ガイド5カ所に排水ホースをはめ込む



4 本体をゆっくり起こす

5 フックをずらし、排水ホースを排水口に差し込む

3 水平の確認と調整

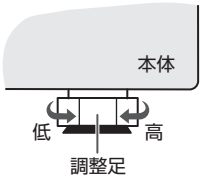
設置場所・設置面の状態により、本体が水平に置けない場合があります。
次の説明をお読みのうえ、ガタつきをなくし、水平設置を確認してください。

ご注意

- 水平に設置できていないと本体の移動・異常振動・騒音・故障の原因となります。必ず水平になるよう調整してください。

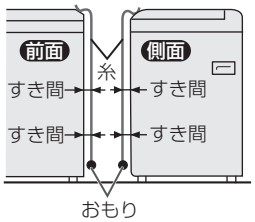
1 ガタつきがないように調整足（前面2カ所）の高さを調整する

- 本体を傾け前面を浮かし、調整足を回して高さを調整してください。



2 水準器で水平度を確認する

- 水準器がない場合は、おもりを付けた糸を図のように下げ、前面と側面の水平度を確認してください。

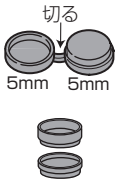


糸と本体のすき間が上下同じなら水平

3 水平度に応じ、調整足または高さ調節クッションゴム（別売）で調整する



高さ調節クッションゴム 別売 ➡P38



- 2個セットになっています。切り離してご使用ください。
- 1個で5mm、2個を重ねて1cmの高さ調節ができます。
- 2個重ねる場合、高さの低い方を下にして重ねてください。

4 本体上端の対角（右前・左後および 左前・右後）を押さえて、ガタつきがないか確認する

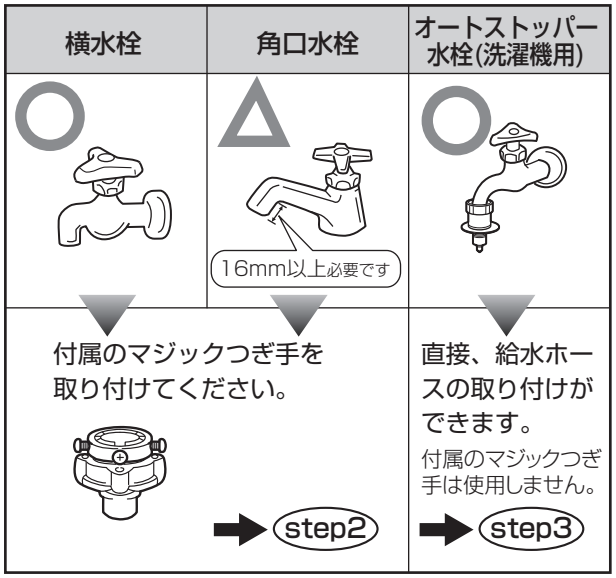


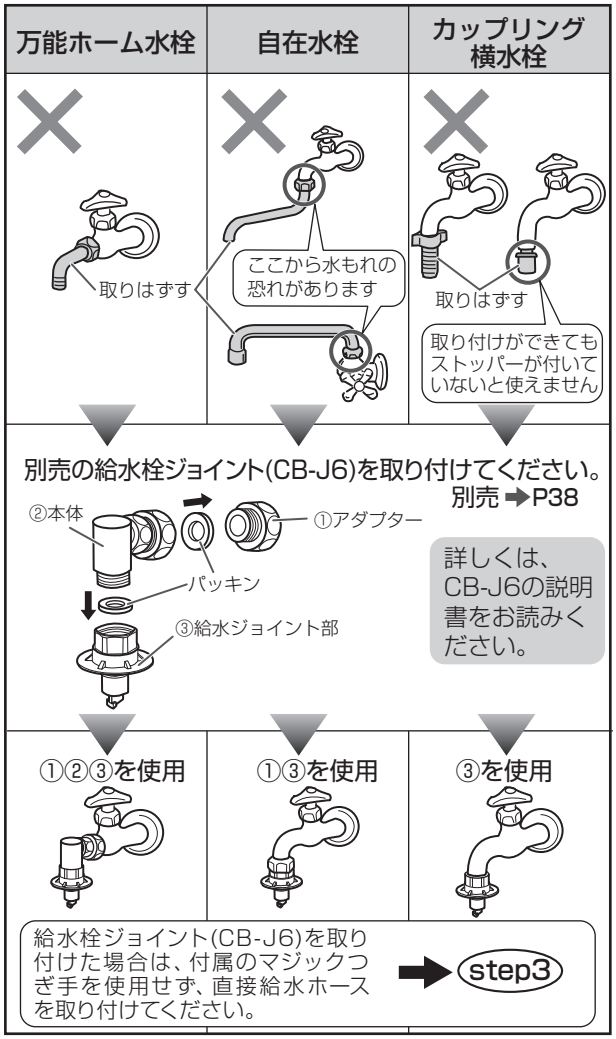
据え付け（つづき）

4 給水ホースの取り付け

- 給水ホース・マジックつぎ手は、付属品または当社専用の新品のものを使用してください。
- 水栓にはマジックつぎ手が使えるものと使えないものがありますので、ご注意ください。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、マジックつぎ手や給水口から水もれがないか確認してください。

step1 水栓形状を確認する



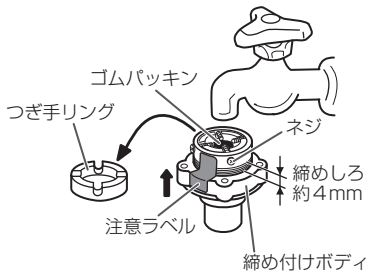


水栓が合わないときは、お買い上げの販売店または水道工事店にご相談ください。

step2 マジックつぎ手を取り付ける

1 **ネジ(4本)をゆるめ、マジックつぎ手のゴムパッキンと水栓の先端を垂直に押し当てる**

- 水栓の径が大きいときは、つぎ手リングをはずしてください。
- 注意ラベルは締め付けボディをゆるめた状態で貼ってあります。水栓にマジックつぎ手をネジで締め付けるまでは、はがさないでください。

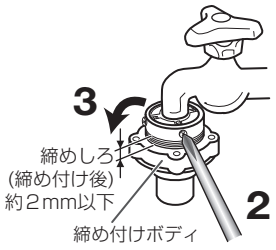


2 **水栓の先端がマジックつぎ手の中心になるようにネジを均等にしっかり締め付ける**

- 壁側になるネジは前もって調整しておくと便利です。

3 **注意ラベルをはがし、締め付けボディを矢印方向へ回して、締めしろが約2mm以下になるまで強く締め付ける**

- 強く締め付けないと水もれする恐れがあります。



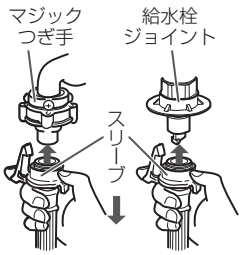
ご注意

- **取り付けかた・転居の際の取り換え・長期間の使用でゆるみが生じたなどで、水もれする場合**
  1 図のように締めしろを約 4mm にゆるめてから、取り付け直してください。
- **パッキンに蛇口の形が付いていたり、劣化している場合**
  マジックつぎ手を取り換えてください。
  転居や取り付け直したときは、特にご注意ください。
- **ゆるみ・ぐらつき・傾きがないか、確認してください。**
- **今までお使いのマジックつぎ手があっても、必ず新品と取り換えてください。**

4 給水ホースの取り付け（つづき）

step3 給水ホースを取り付ける

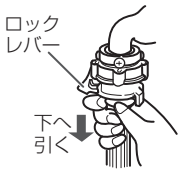
水栓側



1 スリーブを引き下げたままでマジックつぎ手（または給水栓ジョイント/オートストッパー水栓）に差し込む

2 スリーブをはなし、「パチン」と音がするまで差し込む

3 ロックレバーがかかっているのを確認した後、給水ホースを下へ引き、完全に取り付けができているか確認する

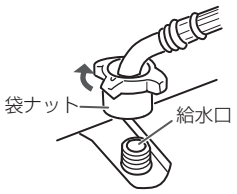


- ロックレバーと本体が接触しない位置で取り付けてください。（水もれの恐れ）

本体側

1 袋ナットの先を給水口にあてがう

2 袋ナットを傾きのないように確実に締め付ける



ご注意

- 転居などで取り付け直したときは、特にご注意ください。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、給水ホースの接続部から水もれがないか確認してください。

給水ホースをはずす場合

水栓を閉じるだけでは水が飛び散りますので、次の手順を必ずお守りください。

1 水栓を閉じ、電源 切/入 電源を入れる

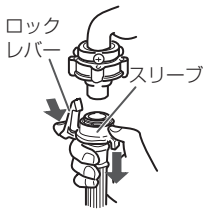
2 コース「おしゃれ着」を選ぶ

3 スタート 一時停止（ロック解除） スタートし、すぐに 電源 切/入 電源を切る

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

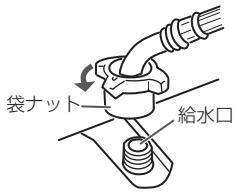
4 水栓側

ロックレバーを押し、スリーブを引き下げて給水ホースをはずし、給水ホース内の残水をバケツなどで受ける



5 本体側

袋ナットをゆるめてはずす



給水ホースを延長する場合

お買い上げの販売店にご相談のうえ、別売の給水延長ホースをお買い求めください。 別売 ➡P38

5 アース・電源

アース工事は有料です

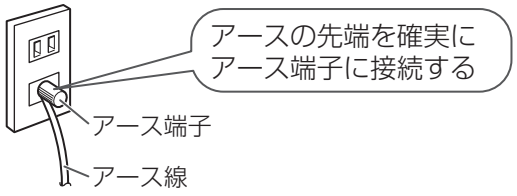
⚠ 警 告

アースを確実に取り付ける
（故障・漏電による感電の原因）

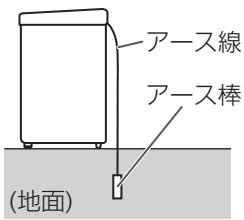
- 漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
- アースの付けはずしは、電源プラグをコンセントから必ず抜いて行ってください。
- 設置場所の変更や転居の際にも、アースの取り付けを必ず行ってください。

定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
電源プラグは根元まで確実に差し込む
（火災・感電の原因）

コンセントにアース端子がある場合



コンセントにアース端子がない場合



法令により電気工事士によるD種接地工事が必要です。お買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。

お願い

- ガス管、電話線や避雷針、水道管には接続しないでください。
（法令などで禁止されています）

据え付け（つづき）

6 設置確認・試運転　必ず行ってください

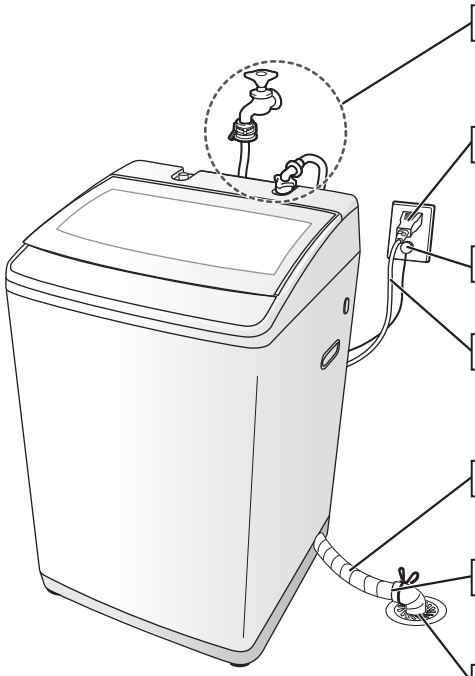
重要確認箇所

☐ 水準器などにより水平設置されていますか。 ➡P31

☐ 本体上端の対角(右前・左後および 左前・右後)を押さえたとき、ガタつきはありませんか。

● ガタつきがあると、脱水時の振動・騒音・故障の原因になります。 ➡P31





☐ 水栓側および本体側の給水ホース接続部から水もれしていませんか。 ➡P32～33

☐ 定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを単独で使っていますか。 ➡P33

☐ アースは確実に取り付けられていますか。 ➡P33

☐ 電源コードを製品本体で踏みつけたり、はさみ込んだりしていませんか。

☐ 排水ホースの立ち上がりは15cm未満になっていますか。 ➡P30

☐ 排水ホースや接続部などから水もれしていませんか。

☐ 排水できましたか。

試運転

- 洗濯・脱水槽内には、**何も入れない**で次の手順で試運転をしてください。
- 水もれ・給排水の不具合・異常な音・本体のガタつき・揺れのないことを確認してください。

1 水栓を開き、[電源 切/入] 電源を入れる

2 上ぶたを閉め [スタート 一時停止 (ロック解除)] スタートする

- 約5分間洗い運転をし、水もれ、その他エラーなどの異常がないことを確認する。

3 [電源 切/入] 電源を切る

4 もう一度 [電源 切/入] 電源を入れる

5 [選ぶ]「脱水」・[設定]「3分」を設定する

6 [スタート 一時停止 (ロック解除)] スタートする

- 異常音・振動がなく、その他エラーなどの異常がないことを確認する。

ブザーが鳴ったら、運転終了

- **異常な音、ガタつき、揺れはでていませんか。**
  設置状態にガタつきはありませんか。
- **水もれはありませんか。**
  給水ホース、排水ホースの接続部から水滴がにじんでいませんか。

故障かな？

修理依頼やお問い合わせの前に、以下をご確認ください。

状態		原因／調べるところ
本体	運転しない	● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでいますか。 ● 電源が入っていますか。 ● 「スタート/一時停止」ボタンを押しましたか。 ● 予約中ではないですか。 ● 水栓を開いていますか。 ● 停電していませんか。 ● ご家庭のヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。
	運転中や電源を切っても 操作パネル部が熱を持っている	● 部品の放熱作用によるものです。
	運転中の振動、音が大きい	● 本体の設置が正しく行われていますか。 水平の確認と調整 ➡ P31
洗い・すすぎ	給水前に パルセーターが回転する	● 洗濯量を検知しているためです。 布量検知 ➡ P7
	少ない水量で パルセーターが回転する	● 「標準」「部屋干し」コースでは、高濃度クリーン洗浄を行います。 ➡ P11 ● 「すすぎ1回」「おいそぎ」「自分流」「毛布」コースでは洗濯時間の短縮と洗濯液を衣類に吸収させるために少ない水量から「洗い」が始まります。
	途中で給水する	● 水量や洗濯物の状態を検知し、うまく洗濯できるように補給水機能がはたらいたためです。次の原因が考えられます。 ・洗濯物を後から追加した。 ・水量が減り、それを自動的に補う機能がはたらいた。 ● 「標準」「部屋干し」コースで高濃度クリーン洗浄中は、水を追加しながら洗います。 ➡ P11
	注水すすぎなのに 排水ホースから水が流れ出ていない	● 水圧が低いときや設定水量が低いときは、排水しないことがあります。
	注水すすぎなのに ためすすぎになる	● 給水量が多い場合は、洗濯・脱水槽からあふれるのを防ぐため、ためすすぎになります。 ● 注水すすぎは、はじめにためすすぎをします。
	すすぎからスタートすると 給水しない	● 排水→脱水してから、すすぎの給水を始めます。
脱水	洗い後の脱水途中で ためすすぎが追加される（給水する）	● 洗剤量が多すぎたり、排水ホースの途中が高くなるなど排水状態が悪く、うまく脱水できない（脱水の回転が上がらない）ときは、ためすすぎを追加します。 排水ホースの処理 ➡ P30
	はじめから高速で脱水しない	● 脱水を効果的に行うために、徐々に回転を上げる運転をします。
	脱水の途中で すすぎになる（給水する）	● 洗濯物が片寄ると、片寄りを修正するためにすすぎを行い、再度脱水をします。
風乾燥	乾きが悪い	● 洗濯物の量・種類、室温・湿度、設置環境などにより仕上り具合が変わります。3時間固定のため、乾きに関係なく終了します。乾き具合に応じて風乾燥運転を追加設定してください。 ● 洗濯量が多すぎませんか。化繊の衣類で 3kg 以下にしてください。洗濯量を少なめにすると、風乾燥の効果が上がります。 ● 脱水が不十分な衣類を入れていませんか。 ● 化繊以外の衣類が混ざっていませんか。 風乾燥をする ➡ P18～19
	運転が終了しても 乾いていない	
水量	洗濯物の量に対する 水量の表示がおかしい	● 水量は、洗濯量で決まります。 化繊など軽いものが多いときには水量を少なく表示したり、ぬれた洗濯物を入れたときには多く表示したりすることがありますが、故障ではありません。 布量検知 ➡ P7
	同じ量を洗っているのに 水量表示が違うことがある	

故障かな？（つづき）

	状　態	原　因 ／ 調べるところ
時間	すすぎ前の 排水・脱水時間が長い	● 泡立ちをおさえ、すすぎ性能を良くするため、すすぎ前の排水・脱水を長くしています。
	洗濯時間が長い	● 所要時間は、給水量毎分15Lで計算しています。15L以下であれば、長くなります。 ● あらかじめ水が入っているときや水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わることがあります。
	残時間表示が途中で変わる	● 残時間表示は、水道水圧・排水・脱水状態などにより、補正しながら表示しているため、変わることがあります。
風呂水	風呂水を吸水しない 風呂水が正しく吸水できないときは、自動的に水道水に切り換わり、運転を継続します。	● 「風呂水」ボタンを押して、風呂水使用行程を設定しましたか。 ● 吸水つぎ手は風呂水吸水口に確実に差し込まれていますか。 ➡ P22 ● 風呂水吸水ホースを巻いたまま使用していませんか。 ➡ P22 ● 風呂水吸水ホースの折れ曲がり・つぶれ・変形・破れ・ひび割れがありませんか。 ● 風呂水吸水ホースの最も高い位置から水面までの高さが1.2m以上ありませんか。 ➡ P22 ● 浄化フィルターやポンプフィルターにゴミがたまっていませんか。 ➡ P28 ● 浄化フィルターが浴槽の水中に入っていますか。 ● 浴槽の中に残り湯がありますか。 ● 発泡性のある入浴剤を使っていませんか。 ➡ P23 ● お買い上げ後、初めて風呂水を使うとき、呼び水をしましたか。 ➡ P23
音	運転終了後に 「ジー」と音がする	● 凍結防止（残水排水）設定をしている場合は、凍結を防ぐため、排水バルブの水抜き音がします。 凍結防止方法 ➡ P25
	脱水終了後に 「シャー」「チャプチャプ」と音がする	● 本体の振動を抑えるために、洗濯・脱水槽上部に入っている液体の音です。脱水終了後や洗濯・脱水槽を手でゆらしたときに「シャー」「チャプチャプ」という音がすることがありますが異常ではありません。
臭い	異臭がする	● 排水口にたまった汚れの臭いが逆流することがあります。集合住宅などで排水口に臭気防止用トラップがない場合は、本体・洗濯物に臭いが付くことがあります。 処置 • 定期的に排水口を掃除してください。 ➡ P26 • 臭気防止用トラップがない場合は、トラップを設置してください。 ● 洗濯・脱水槽内に付着している石けんカス、黒カビなどにより臭いが発生する場合があります。 処置 • 洗濯槽クリーナーを使用し、「槽洗浄」コースを運転してください。 ➡ P27 • 黒カビの発生を防ぐため、使わないときは上ぶたを開放し、洗濯・脱水槽の水分を取り除いてください。
その他	据え付け時や初めて使用するとき 排水ホースから水が出る	● 工場での検査時の残水で故障や不良ではありません。
	上ぶたが開けられない	● チャイルドロックを設定していませんか。 ➡ P4
	衣類が黄変する	● 水道水のさび、粉石けんや洗剤の残り、色移りなどにより、乾燥後に黄変することがあります。塩素系漂白剤・還元型漂白剤をお使いください。
	糸くずの付着が気になる	● すすぎ回数を増やしたり、注水すすぎをおすすめします。 ● 水量を多めに設定してください。 ● 糸くずフィルターを掃除してください。 ➡ P26 ● 糸くずの付着が気になる衣類 ➡ P7
	洗濯の途中なのに 運転が止まってしまった	● 上ぶたが閉まっていますか。 ● 脱水時に洗濯・脱水槽の中で洗濯物が片寄っていませんか。 ● お好み設定方法を間違えていませんか。 ● 槽洗浄中ではありませんか。（約10.5時間つけおきをします。） 以上の原因でないときは、こんな表示がでたら ➡ P37 をご確認のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんな表示がでたら

表示／状態	調べるところ	処置
E1 給水しない	● 水栓を開いていますか。 ● 給水口の網にゴミなどが詰まっていませんか。 ➡ P26 ● 凍結していませんか。 ➡ P25 ● 断水していませんか。 ● 井戸水を使っていませんか。 ➡ P3	異常原因を取り除きスタートする
E2 排水しない	● 排水ホースを倒していますか。 ● 排水ホースがつぶれていませんか。 ● 排水ホースが途中で高くなっていませんか。 ➡ P30 ● 排水ホースを排水口に差し込みすぎて、排水ホースの先端がふさがれていませんか。 ➡ P30 ● 排水口 (フィルターやトラップ部) に糸くずなどが詰まっていませんか。 ➡ P26	
U3 脱水しない	● 洗濯物が片寄っていませんか。 ● 本体が傾いたり、ガタついたりしていませんか。 ➡ P31 ● 排水ホースを排水口に差し込みすぎて、排水ホースの先端がふさがれていませんか。 ➡ P30 ● 排水口 (フィルターやトラップ部) に糸くずなどが詰まっていませんか。 ➡ P26	
E41 E42 E44 ふたロック関係異常	● 上ぶたはしっかり閉まっていますか。 ● すすぎ、脱水、風乾燥運転時やチャイルドロック設定時に上ぶたを無理に開けませんでしたか。	

E41・E42・E44 表示で調べても直らない場合は、ふたロック装置の故障の恐れがあります。
電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉じてお買い上げの販売店に連絡し、点検・修理を依頼してください。

U4 運転しない (一時停止している)	● 上ぶたが開いていませんか。	上ぶたを閉める (チャイルドロック設定中は上ぶたを閉めスタートする)
UL 上ぶたが開かない	● チャイルドロックを設定していませんか。 ➡ P4	
Ud 運転後表示する	● 凍結防止 (残水排水) 設定をしていませんか。 ➡ P25	
E7 EA EU など	制御部品の点検や修理が必要です。 電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉じてお買い上げの販売店に連絡し、点検・修理を依頼してください。	

こんな表示がでたら（つづき）

修理を依頼する前に　初期化をお試しください

本体が、外部からの雑音や妨害ノイズの影響を受けて、正常に作動しない場合があります。
次の手順に従い初期化を行ってください。購入時の設定内容に戻ります。

初期化の方法

1 電源切/入 **電源を入れる**

2 設定 **約6秒間押し続ける**
•「ピッ」と鳴り、初期化が完了

3 電源切/入 **電源を切る**

もう一度電源を入れて、動作を確認してください。

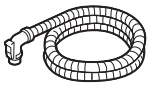
なお、異常があるときは、内部をさわらずに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉じてお買い上げの販売店、または当社修理相談窓口 ➡P40 にご連絡ください。

お願い

- 故障などで、洗濯途中の洗濯物を長期間放置すると色落ち、色移りすることがあります。洗濯物は手洗いなどをしてください。

別売部品

お買い上げの販売店でお求めください。　希望小売価格は2018年10月現在

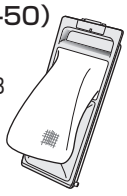
● **風呂水吸水ホース**

長さ　7m
部品コード　301 0 3275 31100
希望小売価格　1,800円（税抜）

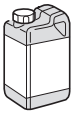
● **浄化フィルター**（風呂水吸水ホース 7m用）
部品コード　301 0 9240 00640
希望小売価格　1,800円（税抜）


● **フィルターA**（別売部品 浄化フィルター用）
部品コード　301 2 8752 10900
希望小売価格　200円（税抜）


● **フィルター(細)・(粗)**（消耗部品）
（風呂水吸水ホース 4m用）
（細）
部品コード　6351192234
希望小売価格　200円（税抜）

（粗）
部品コード　6351192241
希望小売価格　200円（税抜）

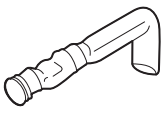
● **糸くずフィルター（LINT-50）**
（消耗部品）
部品コード　0030205058
希望小売価格　600円（税抜）
※別売部品は色がグレーになります。


● **洗濯槽クリーナー（SWCLEAN-1）**
部品コード　S0480002
希望小売価格　2,000円（税抜）


● **大物洗い用洗濯ネット（CN-3）**
部品コード　301 0 2169 20500
希望小売価格　3,500円（税抜）


● **洗濯機トレー（TRAY-5）**
露付きによる
床のぬれ防止用に
外寸　幅660×奥行660×高さ32mm
部品コード　301 2 4134 21400
希望小売価格　7,000円（税抜）

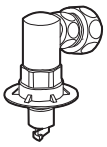

● **排水ホース補修キット**
排水ホースを延長するときに
長さ　1.34m
部品コード　S114755
希望小売価格　1,700円（税抜）

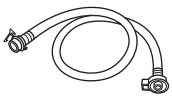
● **真下排水パイプ**
排水口が本体真下
中央部にあるときに


■ HW-PIPE-2（商品扱い）
希望小売価格　1,200円（税抜）
■ SW-PIPE-1（サービス扱い）
部品コード　301 0 3224 00100
希望小売価格　1,200円（税抜）

● **高さ調節脚（HW-KYAKU-ASW）**
（商品扱い）（4個セット）
真下排水パイプを使用するときに
希望小売価格　600円（税抜）


● **ホースバンド**
部品コード　301 2 3341 19900
希望小売価格　200円（税抜）


● **給水栓ジョイント（CB-J6）**
水もれ防止機能付き
部品コード　301 0 3470 25000
希望小売価格　2,400円（税抜）
※水栓形状によっては取り付けできないものがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。


● **給水延長ホース**


長さ	部品コード	希望小売価格(税抜)
1m	301 0 3275 24900	1,700円
2m	301 0 3275 25000	2,200円
3m	301 0 3275 25100	2,600円

● **高さ調節クッションゴム**
傾斜した床、凸凹な床に
据え付けるときに
厚さ　5mm
部品コード　301 2 1442 23400
希望小売価格　500円（税抜）


保証とアフターサービス

保証書(別添付)

お買い上げの販売店で発行しますので、「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

修理を依頼されるとき

➡P37に従って調べてください。直らないときは内部機構をさわらずに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉じ、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご連絡いただきたい内容
• 製品名「全自動電気洗濯機」
• 品　番「AQW-GP7E6」
• お買い上げ日
• お名前・ご住所・電話番号
• 故障の内容「できるだけ具体的に」

◆保証期間中は
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

◆保証期間をすぎている場合は
修理により使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

◆保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。

◆修理料金の仕組み 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断、修理、調整、点検などの費用です。
部品代	修理により使用した部品および補助材料代です。
出張料	ご依頼により、技術者を派遣する費用です。

補修用性能部品の保有期間

電気洗濯機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

- 補修用性能部品…その製品の機能を維持するために必要な部品

外国での保証は

この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.

転居されるときは

転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。

一般家庭用以外の目的でご使用になるとき

理容院、美容院、ホテル、または寮や病院など 1 日の使用回数が一般家庭に比べて多い場合は、短期間で部品（モータ、軸受などの機構部品）の交換が必要になることがあります。また、耐久年数も減少します。
このようなご使用は、保証期間の対象になりません。
お買い上げの販売店にご相談のうえ、業務用機器をお使いになることをおすすめします。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〈本体への表示内容〉

経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の表示を本体に行っています。

【製造年】（本体に西暦 4 桁で表示してあります）

【設計上の標準使用期間】7 年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

〈設計上の標準使用期間とは〉

- 運転時間や温湿度など、右記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

〈経年劣化とは〉

長期間にわたる使用や放置にともない生ずる劣化をいいます。
●設置状況や環境、使用頻度が右記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、7 年より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

■標準的な使用条件：JIS C 9921-4 による

区分	項　目	条　件
環境条件	電　圧	100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温　度	20℃
	湿　度	65%
	設置条件	P29 ～ P34 の記載内容による標準設置
負荷条件	負　荷	7.0kg
	コース	標準コース
	給水圧力	0.03 ～ 1MPa
	給湯・給水	20℃± 15℃
使用時間及び回数	1 日の平均使用回数	1.5 回
	1 回の使用時間	37 分
	1 年間の使用日数	365 日
	1 年間の使用回数	1.5 回× 365 日= 547.5 回 / 年

仕様

仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

種　　類	全自動電気洗濯機	標準洗濯容量	7.0 kg（乾燥布質量）
洗濯方式	うず巻式	標準脱水容量	
外形寸法	幅565×奥行550×高さ965 (mm)	標準水量	55 L
製品質量	32 kg	標準使用水量（標準コース）	113 L (シャワーすすぎ+ためすすぎ1回)
電　　源	100 V・50 Hz/60 Hz共用		
定格消費電力	320/380 W (50/60Hz)	使用水道水圧	0.03～1 MPa (0.3～10kgf/cm^2)

風呂水ポンプ（本体内蔵）	
揚　水　量	9 L/分(吸い上げ高さ1.2m・ホース4mのとき)

- 品番の（　）内記号は色記号です。
- 待機時消費電力（電源を「切」にした状態の電力）は、0（ゼロ）です。
- 標準洗濯・脱水容量は、JIS（日本工業規格）で規定された布地で乾燥状態の場合です。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談および部品のご購入は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談　〈 アクア 株式会社 〉

受付時間：（365日）9：00～18：30

総合相談窓口	固定電話	0120-880-292
	携帯電話・PHS	0570-040-292（有料）
	FAX	0570-013-790（有料）

家電商品の修理サービスについてのご相談　〈 アクア 株式会社 〉

受付時間：　月曜日～金曜日　9：00～18：30
　　土曜・日曜・祝日　9：00～17：30

修理相談窓口	固定電話	0120-778-292
	携帯電話・PHS	0570-030-292（有料）

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、当社ホームページをご覧ください。　http://aqua-has.com/privacy/

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検　長年ご使用の洗濯機の点検を！



こんな症状はありませんか	ご使用中止
●電源コード・プラグが異常に熱い。 ●洗濯・脱水槽が止まりにくい。 ●水もれがする。（ホース、マジックつぎ手） ●こげくさい臭いや運転中に異常な音や振動がする。 ●本体にさわるとビリビリ電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。	このような症状のときは、故障や事故の防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉じて必ず販売店に点検をご相談ください。

この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質【注1】を含有しておりません【注2】。
(JIS C 0950「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」に従って表示しております)
【注1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロモビフェニル」及び「ポリブロモジフェニールエーテル」の6種類の化学物質
【注2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。
http://aqua-has.com/j-moss/

アクア 株式会社
〒103-0012　東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番12号

品番	AQW-GP7E6
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げ店名	電話（　）　－

0030509994AH